

2018 年度
日本語・日本文化研修留学生
研究レポート集 XVI



2019 年 9 月

三重大学国際交流センター

地域人材教育開発機構

2018年度 日本語・日本文化研修留学生 名簿

(2018年10月～2019年9月)

氏名	国籍 (母国の所属の大学)	性別	専門領域	指導教員
ブンナムナート ティティポーン BOONAMNAD THITIPORN	タイ (カセサート大学)	女	日本語	福岡 昌子 (地域人材教育開発 機構・教授)
ソムバット パッカポン SOMBAT PAKKAPOL	タイ (チェンマイ大学)	男	日本語	松岡 知津子 (地域人材教育開発 機構・准教授)
ヌラシアー シティ NURASIAH SITI	インドネシア (パジャジャラン大 学)	女	日本語	正路 真一 (地域人材教育開発 機構・助教)
カノクポンヴェーロート・アッタポン KANOKPONVEROTE ATTAPONG	タイ (コンケン大学)	男	日本語	栗田 聡子 (国際交流センター・ 准教授)



タイ語と日本語における「断り表現」の違いについて

—依頼と勧誘を中心に—

ブンナムナート ティティポーン

Differences in Refusing between Thai and Japanese

—Focused on Request and Invitation—

Boonamnad Thitiporn

<要旨>

本稿では、タイ語と日本語における「断り表現」の違いについて依頼と勧誘を中心にしたものである。上下親疎関係によって場面を分け、意味公式を出現順序によりパターン化して分析した。その結果、日本語母語話者とタイ語母語話者は、直接的な断り（例：行けない、だめ）を多く使用したことがわかった。日本語母語話者には、日本語に見られる「途中で切れる文章」の出現順序が最も多くみられ、日本語学習の効果が現れていると思われる。しかし、日本人の回答に批判してみたら、学習者は過剰に使用する傾向があり、注目すべきところだと考えられる。

キーワード：上下親疎関係 タイ人日本語学習者 意味公式

1. はじめに

会話のコミュニケーションにおいて相互に理解し合うためには、言語能力のほかに 会話の場面での適切な言語使用が必要である。特に「断り」という発話行為には聞き手の気分を害さないように、上下・親疎関係に配慮した言葉遣いが重要である。さらに、日本語学習者の場合、母語での表現と第二言語での表現の違い、すなわち、語用論的転移が存在するため、誤解が生じやすいと思われる。

本研究では、タイ語を母語とするタイ人日本語学習者を対象とした依頼と勧誘に対する「断り」の表現に関する研究 はまだ少ないため、上下・親疎関係を中心に、タイ語と日本語における「断り表現の違い」を明らかにしたい。

2. 先行研究

日本語学習者を対象とした語用論における 依頼と勧誘の「断り表現」研究には、生駒・志村（1993）、鈴木（2010）、カノックワン（1997）がある。

生駒・志村(1993)は、要請と招待(注1)、申し出と提案の「断り表現」という発話行為について、日本語と英語の母語話者、アメリカ人日本語学習者を比較した。研究の結果、アメリカ人日本語学習者の申し出に対する断り以外の全てにおいて、プラグマティック・トランスファーと思われる現象が見られた。

また、要請に対する断りでは、英語の母語話者と学習者は日本語母語話者より多くの直接的な断りをしていて、そして、日本語母語話者の方が「代案」を多く提示した。招待に対する断りでは、英語の母語話者と日本語学習者は「いいえ」という直接的な断りしているが、日本語母語話者は全く使わなかった。また、日本語母語話者が「約束」をしているのに比べ、英語の母語話者と学習者は「約束」及び「感謝の言葉」を述べた。提案に対する断りにおいては、英語の母語話者と学習者には「感謝の表現」が多く見られたが、日本語母語話者には全く見られなかった。

鈴木(2010)は、依頼・勧誘の場面、親疎関係、上下関係について、中国人日本語学習者の日本語、中国語母語話者の中国語、日本語母語話者の日本語と比較し、3グループの断り表現の違いを調べた。その結果、3グループには違いがなく、「断り表現」の意味上の分類としては、関係維持、詫び、感謝、保留のパターンに分類された。関係維持、詫び、感謝、保留の分類については、詳細な結果を示していないため、調べる必要がある。

カノックワン(1997)は、日本人とタイ人を含む外国人学習者にロールプレイをさせて会話から「断り表現」を分析した。その結果、実際の会話に見られる「断り表現」には、①理由、②不可、③否定的マーカの付加成分があることを述べた。まず、「理由」では、学習者が後接する形式(例:理由+ので)などを使わず、命題内容をそのまま述べる例が多く見られ、日本語母語話者に見られる相手に配慮する「ちょっと+理由」のような使用が少ないため、不適切だとみなした。

本語母語話者に見られる相手に配慮する「ちょっと+理由」のような使用が少ないため、不適切だとみなした。次に、「不可」(例:~かな、やっぱり~)は、日本人では出現頻度高いが、日本語学習者は「ダメ」「できない」のようにそのまま断った場合が多かった。最後に、「否定的マーカ」の使用は、断る者の心配りを見せる表現であるが、学習者にはあまり見られなくて唐突で断定的に断る場合が多かった。母語の異なる外国人学習者を対象にしているため、どの母語による結果なのか、わからない。

これらの研究は、外国人日本語学習者を対象に、依頼と勧誘に対する断り表現について調べているが、タイ人の母語話者とタイ人日本語学習者を対象に調査していない。そこで、本研究では、依頼と勧誘における「断り表現」を中心に、タイ語母語話者、タイ人日本語学習者、日本語母語話者の断り表現を比較する。そして、上下・親疎関係によって、どのように日本語、タイ語母語話者で「断り表現」が異なるかを調査する。さらに、学習者の「断り表現」にタイ語から日本語への語用論転移が存在するかを明らかにする。

3. 調査方法

- 1) 対象者:日本語母語話者(JJ) 25名、タイ語母語話者(TT) 25名、タイ人日本語学習者(TJ) 25名
- 2) 調査時期:2019年3月

3) 調査方法：アンケート調査

4) 調査内容：資料1と資料2参照（別紙）

5) 分析方法：先生・先輩・友人を対象とする勧誘と依頼の場面において、どのような「断り表現」をするか分析する。まず、「直接的な断り」（i）「間接的な断り」（ii）か、日本語母語話者、タイ語母語話者、タイ人日本語学習者における相違点と共通点を探す。次に、3グループの対象者の「断り表現」にはどのような特徴があるか、「上下・親疎関係」が関係する場合、どのような影響があるか分析する。

(i) 直接的な断り表現

A. 結論：直接的な断りの表出（例：「行けない」、「だめ」、「手伝うことができない」）

(ii) 間接的な断り表現

B. 途中で切れる文章：言うことが終わってないまま、途中で切れてしまった言い方

（例：「明日はちょっと…」）

C. 詫び：相手の意向に添えないことについて謝る

（例：「ごめんなさい」、「すみません」、「悪い」）

D. 言い訳・理由：相手の意向に添えない理由の説明

（例：「用事があるので」、「予定が入っております」）

E. 感謝：相手の好意に謝意を示す（例：「誘ってくれてありがとう」）

F. 共感：相手の意向に添いたい心情の表出

（例：「行きたいんだけど」、「面白そうだけど」）

G. 約束：相手との関係を維持したい表出

（例：「今度…します」）、「また…ましょう」）

H. 代案：問題解決の方法として他の方法を提示

（例：「他の人に聞いてみたら?」、「他には手伝えることがある?」）

4. 調査結果

4-1 直接的断り

本稿では、全回答を直接的な断り方の使用に集計した結果は図1の通りであった。タイ語と日本語における「断り表現」の違いについて依頼と勧誘を中心にする本研究で用いたアンケートには16の場面があった。

	JJ		TJ		TT		備考
	親	疎	親	疎	親	疎	
先生	68%	68%	16%	16%	60%	60%	JJ > TT > TJ
先輩	68%	64%	12%	16%	68%	76%	TT ≥ JJ > TJ
友人	56%	60%	40%	20%	60%	76%	TT ≥ JJ > TJ
後輩	60%	64%	40%	28%	76%	60%	TT ≥ JJ > TJ

表1 依頼の上下親疎関係における直接的な断り方の使用率

	JJ		TJ		TT		備考
	親	疎	親	疎	親	疎	
先生	64%	72%	20%	12%	68%	68%	JJ ≥ TT > TJ
先輩	68%	64%	24%	20%	72%	72%	TT ≥ JJ > TJ
友人	68%	56%	48%	24%	64%	72%	TT ≥ JJ > TJ
後輩	52%	48%	40%	36%	76%	84%	TT > JJ > TJ

表2 勧誘の上下親疎関係における直接的な断り方の使用率

また、表1と表2からは、タイ人日本語学習者(TJ)による間接的な断り表現が日本人より高かった。依頼と勧誘の上下・親疎関係においては、それほど違いがなかったが、対象者の3グループの回答を批判してみると、依頼と勧誘の二つ表現における「直接的な断り」は、タイ語母語話者(TT)や日本語母語話者(JJ)の方が、日本語学習者より多く見られた。

4-2 間接的な断り

	JJ		TJ		TT		備考
	親	疎	親	疎	親	疎	
先生	28%	32%	84%	84%	40%	36%	TJ > JJ, TT
先輩	32%	36%	88%	84%	32%	24%	TJ > JJ, TT
友人	40%	40%	60%	80%	40%	24%	TJ > JJ, TT
後輩	36%	64%	60%	72%	24%	40%	TJ > JJ ≥ TT

表3 依頼の上下親疎関係における間接的な断り方の使用率

	JJ		TJ		TT		備考
	親	疎	親	疎	親	疎	
先生	40%	28%	88%	80%	32%	32%	TJ > JJ, TT
先輩	32%	36%	76%	88%	28%	28%	TJ > JJ, TT
友人	28%	44%	52%	76%	36%	28%	TJ > JJ, TT
後輩	52%	52%	60%	64%	24%	16%	TJ > JJ > TT

表4 勧誘の上下親疎関係における間接的な断り方の使用率

	意味公式	JJ			TJ			TT			備考
		直	間	合計	直	間	合計	直	間	合計	
先生	途中切れ	-	6%	6%	-	54%	54%	-	-	-	TJ > JJ
	詫び	60%	26%	86%	16%	78%	94%	38%	18%	56%	TJ > JJ > TT
	言い訳・理由	62%	32%	94%	16%	78%	94%	40%	36%	76%	JJ, TJ > TT
	約束	4%	4%	8%	-	-	-	2%	4%	6%	JJ ≥ TT
	代案	-	-	-	-	4%	4%	8%	6%	14%	TT > JJ, TJ
先輩	途中切れ	-	6%	6%	-	58%	58%	-	-	-	TJ > JJ
	詫び	62%	30%	92%	14%	74%	88%	28%	12%	40%	JJ > TJ > TT
	言い訳・理由	54%	34%	88%	10%	56%	66%	24%	26%	50%	JJ > TJ > TT
	約束	6%	4%	10%	-	-	-	2%	-	2%	JJ > TT

	代案	-	-	-	-	6%	6%	2%	8%	10%	TT > TJ
友人	途中切れ	-	8%	8%	-	40%	40%	-	-	-	TJ > JJ
	詫び	54%	38%	92%	28%	60%	88%	76%	10%	86%	JJ > TJ, TT
	言い訳・理由	44%	36%	80%	8%	52%	60%	16%	28%	44%	JJ > TJ > TT
	約束	10%	2%	12%	-	-	-	12%	2%	14%	TT > JJ
	代案	-	-	-	4%	14%	18%	6%	12%	18%	TJ, TT > JJ
後輩	途中切れ	-	4%	4%	-	34%	34%	-	-	-	TJ > JJ
	詫び	62%	32%	94%	32%	52%	84%	22%	12%	34%	JJ, TJ > TT
	言い訳・理由	40%	30%	70%	10%	54%	64%	10%	30%	40%	JJ > TJ > TT
	約束	10%	2%	16%	-	-	-	8%	2%	10%	JJ > TT
	代案	-	4%	4%	-	6%	6%	12%	10%	22%	TT > TJ > JJ

表5 依頼の意味公式の出現順序

	意味公式	JJ			TJ			TT			備考
		直	間	合計	直	間	合計	直	間	合計	
先生	途中切れ	-	6%	6%	-	56%	56%	-	-	-	TJ > JJ
	詫び	52%	22%	64%	8%	74%	84%	48%	10%	58%	TJ, JJ > TT
	言い訳・理由	54%	30%	88%	16%	72%	88%	50%	26%	76%	TJ, JJ > TT
	感謝	18%	6%	24%	6%	28%	34%	10%	2%	12%	TJ > JJ > TT
	約束	14%	10%	24%	-	-	-	6%	8%	12%	JJ ≥ TT
	共感	10%	6%	16%	6%	32%	38%	6%	-	6%	TJ > JJ > TT
先輩	途中切れ	-	10%	10%	-	52%	52%	-	-	-	TJ > JJ
	詫び	50%	24%	74%	12%	70%	82%	20%	12%	32%	TJ > JJ > TT
	言い訳・理由	50%	28%	78%	20%	54%	74%	20%	20%	40%	JJ > TJ > TT
	感謝	10%	6%	16%	4%	14%	18%	-	-	-	TJ > JJ
	約束	20%	14%	34%	-	-	-	10%	6%	16%	JJ > TT
	共感	8%	6%	14%	4%	18%	22%	8%	2%	10%	TJ > JJ > TT
友人	途中切れ	-	6%	6%	6%	36%	42%	-	-	-	TJ > JJ
	詫び	54%	26%	80%	28%	52%	80%	22%	6%	28%	JJ, TJ > TT
	言い訳・理由	40%	26%	66%	18%	48%	66%	20%	20%	40%	JJ, TJ > TT
	感謝	6%	6%	12%	-	10%	10%	-	-	-	JJ > TJ
	約束	10%	10%	20%	-	2%	2%	6%	8%	14%	JJ > TT
	共感	4%	6%	10%	6%	22%	28%	4%	6%	10%	TJ > TT, JJ
後輩	途中切れ	-	6%	6%	-	38%	38%	-	-	-	TJ > JJ
	詫び	46%	40%	86%	30%	48%	78%	26%	2%	28%	JJ, TJ > TT
	言い訳・理由	26%	42%	68%	14%	46%	60%	16%	16%	32%	JJ > TJ > TT
	感謝	8%	6%	14%	4%	14%	18%	4%	2%	12%	TJ > JJ, TT
	約束	6%	6%	12%	-	-	-	12%	6%	18%	TT > JJ
	共感	-	6%	6%	-	18%	18%	-	4%	4%	TJ > JJ > TT

表6 勧誘の意味公式の出現順序

意味公式の出現パターンによって、対象者の3グループの回答をまとめた。意味公式の出現順序の割合を見てみると、表4, 5から、タイ人日本語学習者は「間接的断り」が高く、2つの場面では、「途中切れ」、「詫び」、「言い訳・理由」、「約束」の出現が出てきたが、依頼における場面だけに、「代案」が

見られた。それに、「感謝」、「共感」の出現は勧誘における場面だけにあらわれた。表5と6からは、「詫び」と「言い訳・理由」が最も際立っていた。

5. 考察

5-1 上下・親疎関係パターン

依頼と勧誘に関する上下・親疎関係において、それほど違いがなかったが、対象者の3グループの回答を批判してみると、タイ語母語話者(TT)と日本語母語話者(JJ)に、「直接的な断り」が多く見られた。タイ人日本語学習者の回答には、「だめ」、「……行けません」、「……できません」のような直接的な断り表現が少なかった。上下・親疎関係パターンも、同じ傾向が見られた。

5-2 日本語学習の効果

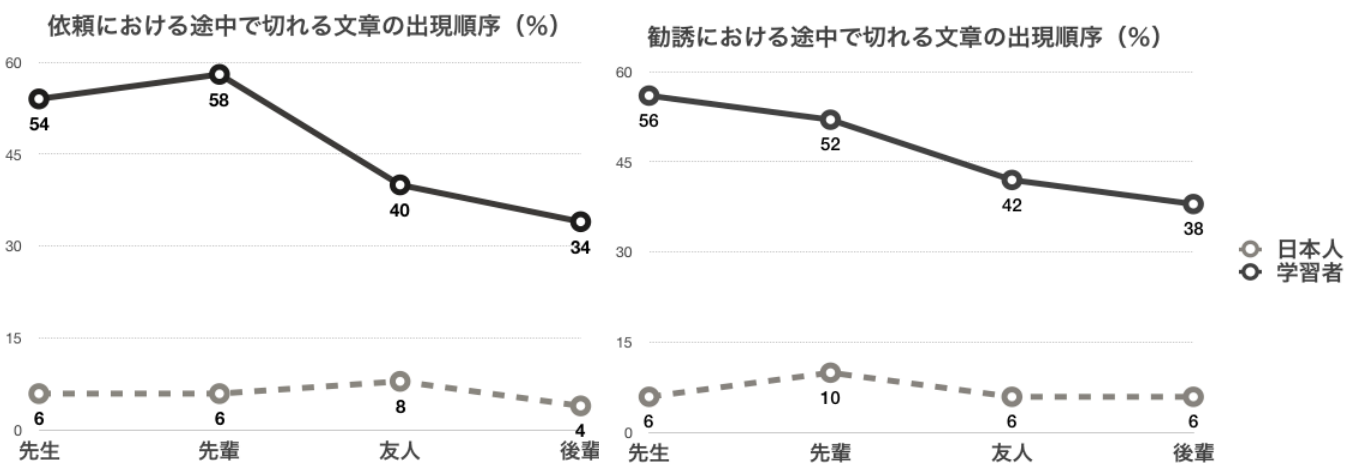


図1 依頼と勧誘における途中で切れる文章の出現順序

日本語には文を途中で切って直接的な断りを避ける傾向があるが、このような間接的な断り表現は、タイ人日本語学習者に多く見られた。この結果から、日本語学習者には、「日本語らしさ」や「日本人らしい断り方」が多く見られ、日本語学習の効果が現れていることがわかる。本稿の結果では、断り表現において「理由」を述べる日本語母語話者が多かったので、この点については、一般化できるか、さらに調査をして調べたい。

5-3 意味公式の発現パターン

3グループは依頼と勧誘における場面で、共通して「理由」や「詫び」を多く利用したが、タイ語母語話者は、日本語母語話者と学習者より「詫び」の表現が非常に少なかった。タイ人日本語学習者は、タイ人より「言い訳・理由」が多く、勧誘の場面においては、「感謝」を多く使っていた。

また、日本語母語話者(JJ)の回答は、「また誘ってくださいね。」のような相手に期待する「約束」が多く見られた。だが、上位者から下位者の相手の立場を問わず、日本語学習者が約束をほとんど使わなかった。

6. 今後の課題

本稿では、依頼と勧誘における「断り表現」について、オンラインアンケートで調査方法を実施したが、全ての対象者が20代としたため、世代の変化に可能性があった。今後は、20代だけでなく、様々な年齢層を加えて研究を進めたい。また、今回の調査方法では、自然な談話収集に限界があり、フォローアップのインタビューも日本語学習者にのみ行った。今後は、もっと自然な発話のデータを垂れるようにロールプレイなどの方法を使い、日本語母語話者とタイ語母語話者にもインタビューしたい。

注

- 1 生駒・志村(1993)における要請と招待は、本研究の依頼・勧誘と同じ定義である

<参考文献>

生駒知子・志村明彦(1993)「英語から日本語へのプラグマティック・トランスファー：「断り」

という発話行為について」『日本語教育』79, pp.41-51 日本語教育学会

鈴木 恵理子(2010)「中国人日本語学習者の断りのストラテジー：中国 国内学習者の場合」『東北大学高等

教育開発推進センター紀要』5, pp.73-82 東北大学

ラオハブラナキット・カノックワン(1997)「日本語学習者にみられる『断り』の表現-

日本語母語話者と比べて-」『世界の日本語教育』7, pp.97-1

<บทคัดย่อ>

รายงานวิจัยเล่มนี้มีเนื้อหาเกี่ยวกับความแตกต่างระหว่างสถานการณ์ตอบปฏิเสธในภาษาไทยและภาษาญี่ปุ่น ซึ่งใช้วิธีการรวบรวมข้อมูลโดยการสร้างแบบสอบถาม เกี่ยวกับกลวิธีการตอบปฏิเสธตามสถานการณ์ที่กำหนดให้ โดยจะแบ่งออกเป็น 2 สถานการณ์คือ การตอบปฏิเสธการขอร้องและการตอบปฏิเสธการชักชวน โดยกลุ่มเป้าหมายมี 3 กลุ่มคือ เจ้าของภาษานักศึกษาชาวญี่ปุ่น ผู้เรียนภาษาญี่ปุ่นชาวไทย และนักศึกษาชาวไทยที่ไม่มีความรู้ด้านภาษาญี่ปุ่น โดยแบบสอบถามออกเป็น 2 ชุด คือ แบบสอบถามชุดที่ 1 (ฉบับภาษาญี่ปุ่น) และแบบสอบถามชุดที่ 2 (ฉบับภาษาไทย) ซึ่งจะให้นักศึกษาชาวญี่ปุ่นและผู้เรียนภาษาญี่ปุ่นชาวไทยทำแบบสอบถามชุดที่ 1 โดยตอบเป็นภาษาญี่ปุ่น ในขณะที่ของผู้เรียนภาษาญี่ปุ่นชาวไทยจะต้องตอบเป็นภาษาญี่ปุ่น จากนั้นต้องแปลคำตอบของตนเองเป็นภาษาไทยด้วย และกรณีของนักศึกษาชาวไทยจะทำแบบสอบถามชุดที่ 2 โดยตอบเป็นภาษาไทย

จากผลลัพธ์แบบสอบถาม

ทำให้ทราบว่านักศึกษาชาวญี่ปุ่นและนักศึกษาชาวไทยมีการใช้กลยุทธ์การตอบปฏิเสธทางตรงมากกว่าผู้เรียนภาษาญี่ปุ่นชาวไทย อีกทั้งจากข้อมูลการตอบปฏิเสธของผู้เรียนภาษาญี่ปุ่นชาวไทย พบว่าผู้เรียนมีการใช้สถานการณ์ตัดประโยค มากกว่าเจ้าของภาษา(นักศึกษาชาวญี่ปุ่น) ซึ่งวิธีการตัดประโยคเป็นสำนวนที่พบได้แค่ในภาษาญี่ปุ่น และผู้เรียนมีความเข้าใจในการใช้ได้ดี แต่เมื่อเทียบกับการตอบปฏิเสธของคนญี่ปุ่นที่ไม่ค่อยมีการใช้สถานการณ์ตัดประโยคในการปฏิเสธ จึงอาจสรุปได้ว่า คนญี่ปุ่นไม่ค่อยนิยมใช้สถานการณ์ตัดประโยคในการตอบปฏิเสธ

นอกจากนี้ ยังวิเคราะห์ประโยคปฏิเสธของทั้ง 3 กลุ่มเป้าหมายมีองค์ประกอบดังต่อไปนี้

๑. การตอบปฏิเสธทางตรง

ก. คำปฏิเสธ : แสดงข้อสรุปของการปฏิเสธ (ตัวอย่าง : 'ไปไม่ได้', 'ไม่ได้', 'ไม่สามารถช่วยได้')

๒. การตอบปฏิเสธทางอ้อม

ข. สำนวนการตัดประโยค : (ตัวอย่าง : 「明日はちよっと...」)

ค. การขอโทษ : แสดงความการขอโทษ (ตัวอย่าง : ขอโทษนะคะ , โทษที)

ง. เหตุผล : อธิบายเหตุผลที่ไม่สามารถทำในสิ่งที่คู่สนทนาคาดหวัง ขอร้อง ชักชวน ได้

(ตัวอย่าง : มีธุระ , พอคิมีธุระด่วน)

จ. การขอบคุณ : แสดงการขอบคุณต่อคู่สนทนา (ตัวอย่าง : ขอบคุณที่ชวนนะคะ)

ฉ. ความรู้สึกร่วม : แสดงถึงความรู้สึกที่มีร่วมต่อคู่สนทนา (ตัวอย่าง : อยากไปจัง น่าสนใจคะ)

ช. สัญญา : แสดงถึงสัญญาที่จะทำชดเชยในอนาคต (ตัวอย่าง : ไว้...ครั้งหน้า)

ซ. ข้อเสนอ : แสดงข้อคิดเห็น ข้อเสนอ เพื่อเป็นทางเลือกให้กับคู่สนทนา (ตัวอย่าง : ลองถามคุณ...ดูไหม ,

มีอย่างอื่นให้ช่วยไหม)

จากผลลัพธ์ พบว่า มีการแสดงเหตุผล การขอโทษ ในการตอบปฏิเสธทั้ง 2 สถานการณ์ อีกทั้งมีแสดงการขอบคุณ ความรู้สึกร่วมในการอยากไป เมื่อถูกชักชวน และมีการเสนอทางเลือกเมื่อถูกขอร้อง โดยมีปัจจัยของระดับความสนิทสนมและความต่างสถานะของผู้ตอบปฏิเสธและคู่สนทนา(ผู้ถูกปฏิเสธ) มาวิเคราะห์ร่วมด้วย แต่ก็ไม่พบความแตกต่างดังกล่าวจึงสรุปได้ว่า ผลลัพธ์ของการทำวิจัยในครั้งนี้ นั้น ปัจจัย

ระดับความสนิทสนมและความต่างสถานะของผู้ตอบปฏิเสธและคู่สนทนา(ผู้ถูกปฏิเสธ) ไม่ส่งผลต่อการตอบปฏิเสธของทั้ง 3 กลุ่มเป้าหมาย

【別紙】

アンケート調査

私は、三重大大学に留学しているブンアムナート ティティポーンと申します。このアンケートは、依頼と勧誘に対する場面での「断り表現」の違いについて調査するものです。いつも話している表現のように書いてください。皆様の回答は、本研究のために参照することを希望しております。ご協力いただけることに感謝申し上げます。

性別： 男 ・ 女

年齢： _____ 歳

日本語能力試験： _____ 級

留学経験： _____

日本語学習歴： _____ 年間

次の依頼と勧誘に対して、上下関係や親疎関係を考えながら、適切に「断る」文章を書いてください。上下・親疎関係が異なっても、依頼と勧誘の真意は同じです。

【依頼】

《質問1》 先生が研究室で、「明日イベントがあって、写真を撮ってくれる人を探しているんだけど、時間があったら、手伝ってくれる？」と言った。

親しい場合 ： (_____)

親しくない場合： (_____)

《質問2》 先輩がサークル部屋で、「明日イベントがあって、写真を撮ってくれる人を探しているんだけど、時間があったら、手伝ってくれる？」と言った。

親しい場合 ： (_____)

親しくない場合： (_____)

《質問3》 友人 がサークル部屋で、「明日イベントがあって、写真を撮ってくれる人を探しているんだけど、時間があったら、手伝ってくれる？」と言った。

親しい場合 : ()

親しくない場合: ()

《質問4》 後輩 が「明日イベントがあって、写真を撮ってくれる人を探しているんだけど、時間があったら、手伝っていただけませんか？」と言った。

親しい場合 : ()

親しくない場合: ()

【勧誘】

《質問1》 先生 から「明日、国際交流のイベントがあるんだけど、よかったら一緒に行きませんか？」と誘われた。

親しい場合 : ()

親しくない場合: ()

《質問2》 先輩 から「明日、国際交流のイベントがあるんだけど、よかったら一緒に行かない？」と誘われた。

親しい場合 : ()

親しくない場合: ()

《質問3》 友人 から「明日、国際交流のイベントがあるんだけど、よかったら一緒に行かない？」と誘われた。

親しい場合 : ()

親しくない場合: ()

《質問4》 後輩 から「明日、国際交流のイベントがあるんだけど、よかったら一緒に行かない？」と誘われた。

親しい場合 : ()

親しくない場合: ()

แบบสอบถาม

ดิฉัน นางสาวจิตติพร บุญอำนาจ มาศึกษาแลกเปลี่ยนที่มหาวิทยาลัยมิเอะ และกำลังทำวิจัยเกี่ยวกับ การตอบปฏิเสธของคนไทยและคนญี่ปุ่น จึงได้จัดทำแบบสอบถามฉบับนี้ขึ้น โดยจะแบ่งการตอบปฏิเสธเป็น 2 สถานการณ์ คือ

1. การตอบปฏิเสธจากการขอร้อง 2. การตอบปฏิเสธจากการชักชวน
ดังนั้น เพื่อให้การค้นคว้าเป็นไปตามวัตถุประสงค์และเกิดประสิทธิผล

เพศ : ชาย หญิง

อายุ : _____ ปี

ผลการสอบวัดระดับภาษาญี่ปุ่น : N1 N2 N3 N4 N5

ระยะเวลาแลกเปลี่ยน ณประเทศญี่ปุ่น : _____

ศึกษาภาษาญี่ปุ่นมาเป็นเวลา : _____

สถานการณ์ที่ 1 : การตอบปฏิเสธจากการขอร้อง

1. ถ้าคุณถูกอาจารย์ขอร้องให้คุณช่วยมาเป็นตากล้องในงานอีเวนต์วันพรุ่งนี้ คุณจะตอบปฏิเสธว่าอย่างไร ?

กรณีอาจารย์ที่สนิท : ()

กรณีอาจารย์ที่ไม่สนิท : ()

2. ถ้าคุณถูกรุ่นพี่ขอร้องให้คุณช่วยมาเป็นตากล้องในงานอีเวนต์วันพรุ่งนี้ คุณจะตอบปฏิเสธว่าอย่างไร ?

กรณีรุ่นพี่ที่สนิท : ()

กรณีรุ่นพี่ที่ไม่สนิท : ()

3. ถ้าคุณถูกเพื่อนขอร้องให้คุณช่วยมาเป็นตากล้องในงานอีเวนต์วันพรุ่งนี้ คุณจะตอบปฏิเสธว่าอย่างไร ?

กรณีเพื่อนที่สนิท : ()

กรณีเพื่อนที่ไม่สนิท : ()

4. ถ้าคุณถูกรุ่นน้องขอร้องให้คุณช่วยมาเป็นตากล้องในงานอีเวนต์วันพรุ่งนี้ คุณจะตอบปฏิเสธว่าอย่างไร ?

กรณีรุ่นน้องที่สนิท : ()

กรณีรุ่นน้องที่ไม่สนิท : ()

สถานการณ์ 2 : การตอบปฏิเสธจากการชักชวน

5. ถ้าอาจารย์ชวนคุณไปงานแลกเปลี่ยนวัฒนธรรมวันพรุ่งนี้ คุณจะตอบปฏิเสธอย่างไร ?

กรณีอาจารย์ที่สนิท : ()

กรณีอาจารย์ที่ไม่สนิท : ()

6. ถ้ารุ่นพี่ชวนคุณไปงานแลกเปลี่ยนวัฒนธรรมวันพรุ่งนี้ คุณจะตอบปฏิเสธอย่างไร ?

กรณีรุ่นพี่ที่สนิท : ()

กรณีรุ่นพี่ที่ไม่สนิท : ()

7. ถ้าเพื่อนชวนคุณไปงานแลกเปลี่ยนวัฒนธรรมวันพรุ่งนี้ คุณจะตอบปฏิเสธอย่างไร ?

กรณีเพื่อนที่สนิท : ()

กรณีเพื่อนที่ไม่สนิท : ()

8. ถ้ารุ่นน้องชวนคุณไปงานแลกเปลี่ยนวัฒนธรรมวันพรุ่งนี้ คุณจะตอบปฏิเสธอย่างไร ?

กรณีรุ่นน้องที่สนิท : ()

กรณีรุ่นน้องที่ไม่สนิท : ()

「全然」を伴う述語の意味に関する一考察

ソムバット パッカポン

A Study on the Meaning of Predicates with the adverb “ZENZEN”

Pakkapol Sombat

<要旨>

本研究では、「全然」と共起する肯定述語に関する問題点について論じた。まず、「全然」に関する先行研究を概観した上で、「現代日本語書き言葉コーパス」とオンライン版の「朝日新聞（以下、朝日）」を使用し、「現代日本語書き言葉コーパス」にある「Yahoo! ブログ（以下、ブログ）」、「Yahoo! 知恵袋（以下、知恵袋）」、「国会会議録」からは各 500 例の「全然」+肯定の表現を、また、オンライン版の「朝日」のページから 1000 例の「全然」の表現を取り出して調査した。その結果、「全然」と共起する肯定述語は否定述語に比べてかなり少ないものの、「ブログ」や「知恵袋」、「朝日」などには一定数みられることが分かった。ただし、「朝日」において見られたものは、全てインタビュー記事であった。「全然」と共起する肯定述語には、「いい」やそれに類似するものが多くみられた。また、品詞は形容詞が最も多いことが明らかになった。最後に、これらの調査結果をもとに、日本語教科書への提言を行った。

キーワード： 「全然」、述語、肯定述語、品詞

1. はじめに

日本語教育現場では、様々な日本語教科書が使われている。これらの教科書では、どれも「全然」は否定と共起する副詞として扱われており、否定述語と共起しなければならないと述べられている。しかし、服部匡（2007）は、「全然」は否定述語だけではなく、昔から肯定を表す副詞としても日常生活に広く使われてきたと述べられている。また、筆者も日本人との会話において度々「全然」+肯定述語を耳にする。しかし、教科書の説明だけを見ると、しかし、教育現場においては依然として否定述語とのみ共起すると指導されている。これでは、日本語会話においてミスコミュニケーションを引き起こす可能性がある。そこで、本研究では、「現代日本語書き言葉コーパス」と「朝日」サイトを調べ、「全然」が「肯定述語」と共起する例を収集し、意味を分析する。それから、調査結果に基づいて多く使用されている肯定述語を明らかにする。最後に、新たな文法解説の提案を試みる。

2. 先行研究とその問題点

「全然」と共起する述語が否定であると言われるようになったのはいつからだろうか。肯定述語が認められることはなかったのか。本節では、「全然」と共起する述語に関する先行研究を概観していく。

2.1. 佐野

佐野は、「全然」は江戸後期に中国語からの借用語として日本語に入ってきたと述べた。これが日本語として定着・確立するのは明治 40 年代以降で、この時代の「全然」は否定的にも、否定辞を伴わず

に肯定的にも使うことができたと述べている。つまり、現在誤った用法と見なされている肯定的用法がかつては正しい用法だったということである。しかしながら、大正期の終わり頃から肯定的用法が使われなくなり、結果として否定的用法のみが正しい用法とされるようになったと言われる。近年増えつつある用法が示すように、そこから再度肯定的用法が使われるようになるのであるが、それは昭和 20 年以後であると言われている（鈴木 1993）。これまでの「全然」の肯定的・否定的用法に関する変化の流れを図 1 にまとめる。



図 1 「全然」の用法・呼応表現の変遷

佐野は、梅林（1994）に倣って「全然」をその呼応表現の種類によって「否定辞」、「伝統形」、「革新形」という 3 種類に分類した。図 2 に分類方法をまとめる。

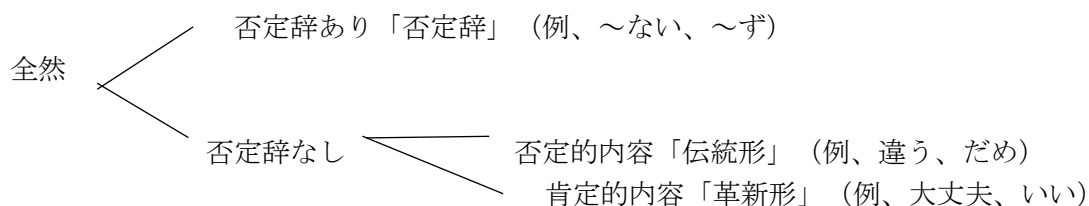


図 2 「全然」の呼応表現による分類

まず、呼応表現が「～ない」、「～ず」などの否定辞である場合、これらを「否定辞」とする。次に、否定辞を伴わないものをさらに 2 種類に分ける。呼応表現が「違う」、「だめ」などのように従来から文法的であると思われている否定的内容である場合は「伝統形」とし、「大丈夫」、「いい」など近年多く見られるようになった肯定的内容である場合は「革新形」としたと述べてた。

また、佐野は「日本語話し言葉コーパス」で分析の前提となるデータも収集、分類・分析をしている。上記の分類方法に従って全用例を分類した。内訳を表 1 に示す。

	頻度	比率
否定辞	1, 112	72. 49%
伝統形	263	17. 14%
革新形	159	10. 37%
合計	1, 534	100%

表 1 「全然」の呼応表現ごとの分布

表 1 が示すように、佐野は「全然」の約 70% が否定辞と共起している一方で、革新形は 10% 程度となっており、革新形が近年多く見られるようになってはいるものの、依然として否定辞と共起することが

ほとんどであると述べている。つまり、変化はまだ初期段階にあると考えられる（後述）。また、伝統形についても否定辞と比べると少ないと述べている。

次に、佐野は否定辞、伝統形、革新形それぞれの内訳を見る。以下に各呼応表現の中で頻度の高かったものを8件ずつまとめる。

否定辞		伝統形		革新形	
ない	613	違う	198	いい	14
なく	191	別	16	大丈夫	10
なか	160	駄目	14	平気	8
ません	108	変わった（て）	10	普通	4
ず	29	異なる/異質	5	オーケー	3
ねえ	3	少ない	4	うまい	2
なし	2	だけ	3	安全/安心	2
ぬ	2	逆	2	元気	2

表2 各呼応表現の内訳（上位8類）

まず、否定辞の中でも変異があり、「ない」が613件とほぼ半数を占めているものの、その他丁寧語の「ません」（108件）や「ず」（29件）なども観察された。伝統形の中では、「違う」が198件で過半数を占めている。その他では「別」が16件、「駄目」が14件で続いている。「違う」の多さが際立っているが、この結果は先行研究における、否定辞を伴わない形式では「違う」、「駄目」が多い（野田、2000）という主張とも一致する。革新形では、「いい」、「大丈夫」、「平気」という典型的な例が多く観察された。

しかし、佐野では話し言葉のみが分析対象とされているが、書き言葉に現れる用法についてはまだ追究されていない。したがって、肯定的述語と共起する「全然」の用法をより明確するために、書き言葉に現れる例も分析対象に加える必要がある。

2.2.工藤

工藤は共起する述語の分類（名詞、動詞、形容詞）によって32語の副詞を、A類、B類、C類と3つのグループに分けている。以下、工藤による各グループの使い方を見ていく。

A類： 名詞述語、形容詞述語、動詞述語、どれでも述語のタイプに限定がない。

- A1 けっして、べつに
- A2 かならずしも、あながち、まんざら
- A3 まさか、よもや

B類： 動詞述語の限定されていて、普通の形容詞述語や名詞述語とは共起しない。

- B1 とても、とうてい
- B2 どうにも、なかなか、いっこうに
- B3 ついぞ、二度と/めったに、ろくに

C類： 形容詞述語・動詞述語とは共起するが、名詞述語とは基本的に共起しえない。ただし、名詞述語で「美人だ、秀才だ」のような程度性のあるものは、C類の副詞と共起できる場合がある。

- C1 さっぱり、まるで、ぜんぜん/夢にも、もうとう
- C2 すこしも、ちっとも、いささかも、みじんも、これっぽっちも
- C3 たいして、さして、さほど、それほど、あまり

上記の分類によると、「全然」はC類に入っており、否定的意味を持つ述語（形容詞及び動詞述語）としか共起しないと述べている。工藤では、否定的意味やマイナス評価を表す述語（例：違う、駄目など）のみについて述べており、本研究に不足である。そのため、肯定的意味を表す述語（例：全然いいなど）についてさらに調査する必要がある。

2.3 服部

服部は、大規模コーパスによる「全然」の実例を検証するために、「朝日」と「知恵袋」からのデータを調べ、結果を量的に比較して「全然」と共起する述語の傾向を明らかにした。

表3 「全然」と共起する述語類別

	新聞		知恵袋	
	件数	割合	件数	割合
否定形式	2122	71.0%	1769	63.7%
相違類	666	22.3%	464	16.7%
だめ	126	4.2%	39	1.4%
別	23	0.8%	18	0.6%
平気	12	0.4%	42	1.5%
大丈夫	6	0.2%	76	2.7%
OK	1	0.0%	111	4.0%
良い	5	0.2%	67	2.4%
普通	1	0.0%	23	0.8%
いける	-	0.0%	10	0.4%
余裕	-	0.0%	5	0.2%
まし	-	0.0%	16	0.6%
その他	27	0.9%	137	4.9%
合計	2989	100.0%	2777	100.0%

表3の調査結果によると、「朝日」よりも「知恵袋」の方が「全然」と共起する語句の種類が多様であることが明らかになった。また服部は、否定形式の述語と共起する率は新聞の方が「知恵袋」より高いと述べている。

述語類別は、否定形式のもの以外に以下のような特定述語類などがあると述べた。

述語	例/詳細
相違類	違う、異なる、変わる、異にする、etc.
だめ	駄目、あかん（あきまへん）
別	別だ/の、別人、別物
平気	-
大丈夫	-
OK	-
良い	-
普通	（だ/の/に）

いける	-
余裕	-
まし	-

表4 特定述語類（否定形式でないもの）

述語	例/詳細
度量形容詞類	日常的な意味で、程度差を数量として計れる形容詞等 安い、遅い、短い、年上だ、etc.
可能動詞類	使える、楽しめる、etc.
評価的にプラスの語句	楽勝、うれしい、かっこいい、etc.
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bの表現のどれかに類義なものも多い 「違う=ずれちゃっている」「OK=セーフ、可」 「平気=へっちゃら」 ・ 否定的接辞等を伴うもの 「無関係、無理、理解不能、意味不明、ノープロブレムなど」 ・ 他（整理できていない） 「ヒマ、忘れてた、最初、わかるなど」

表5 その他

服部は、「全然」と共起する述語を量的に比較して共起可能な述語の傾向を述べたが、「全然」の意味自体の分析には至っていない。しかし、日本語教科書における「全然」の文法解説を改善するためには、共起する肯定的述語の例に加えて、その意味に関する説明も欠かせないものである。従って、本研究は服部では扱われていない「国会会議録」と話し言葉に近い「ブログ」のデータも調査対象に加えることと共に、日本語教育に生かすことを目指して「全然」の意味自体も分析する。

2.4 「全然」と述語の関係

梅林（2012）は、明治時代から肯定を表す副詞としても日常生活に広く使われてきたが、金田一による『辞海』以降「全然」の肯定的述語と共起する用法が日本語教科書から取り消されていると述べている。尾谷（2006）は、なぜ「全然」の肯定的用法が『辞海』に述べられなかったかについて「全然」が昔「ぜんぜん」と発音されておらず、「すっかり」「まるで」「まるきり」と読むことができたからではないかと述べている。

3. コーパス等を用いた調査

3.1. 調査方法

本節では、「現代日本語書き言葉コーパス」とオンライン版の「朝日」を使用し、「全然」の肯定述語に関する肯定述語の言葉の数、品詞、働きなどを明らかにする。「現代日本語書き言葉コーパス」から「ブログ」、「知恵袋」、「国会会議録」について、各 500 例の「全然」+肯定の表現を、また、オンライン版の「朝日」のページから 1000 例の「全然」+肯定の表現を取り出す。そして、これらから出てきた例をもとに、「全然」+肯定表現にはどのような特徴があるかを見ていく。

3.2. 調査結果

3.2.1. 「全然」+否定と「全然」+肯定の割合

本節では「ブログ」、「知恵袋」各 1000 語、「朝日」500 語、そして、「国会会議録」347 語を取り上げて調査した。そのうち、大半の例文は「全然」+否定であった。以下に、割合を示す。

	全然+否定 (例)	%	全然+肯定	%	合計
知恵袋	434	87	66	13	500
ブログ	455	91	45	9	500
朝日	954	95	46	5	1000
国会会議録	343	99	4	1	347

表6 「ブログ」、「知恵袋」、「朝日」、「国会会議録」による「全然」+否定と「全然」+肯定の表現の割合

以上から分かるように、どれも、「全然」を含む文の 90%以上は否定と共起する。一方、肯定と共起する表現は「知恵袋」、「ブログ」、「朝日」、「国会会議録」に使うが、少ないことが分かる。

3.2.2. 「全然」+否定と「全然」+肯定に見られる品詞

次に、3.2.1 のように「ブログ」、「知恵袋」各 1000 語、「朝日」500 語、そして、「国会会議録」347 語を取り上げて「全然」+否定と「全然」+肯定について調査した。本節では、各 100 例ずつを取り上げ、「全然」+否定にみられる品詞の割合を調査する。

1.) 否定述語の場合

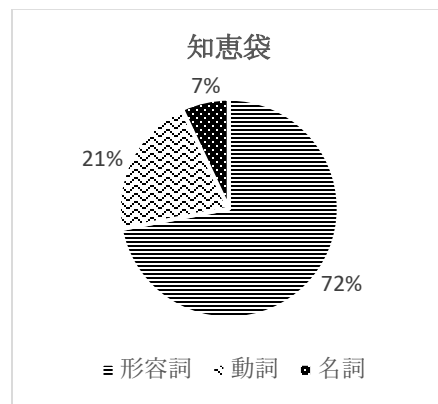
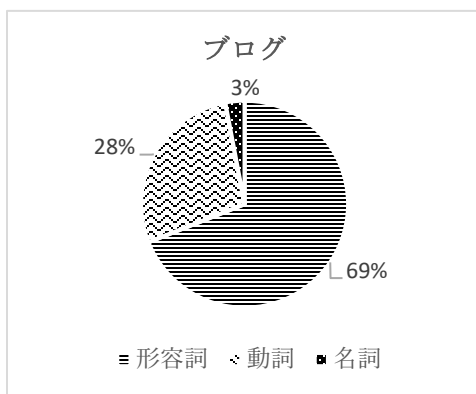


図3 「ブログ」による否定述語の品詞

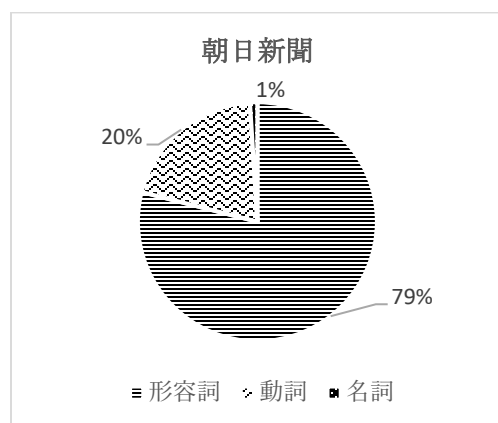


図4 「知恵袋」による否定述語の品詞

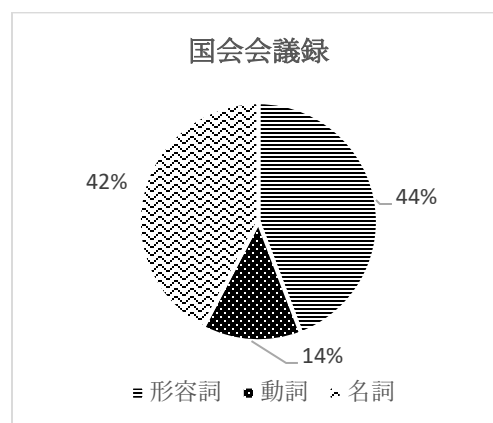


図5 「朝日」による否定述語の品詞

図6 「国会会議録」による否定述語の品詞

図3、4、5、6によると、「全然」+否定、どれも最も多く見つかった品詞は形容詞であることがわかった。次に、「国会会議録」以外は名詞より動詞のほうが多い。逆に、「国会会議録」は動詞より名詞のほうが多い。

「全然」+肯定は3.2.1と同様に調査する。以下、述語の言葉と割合を明示する。

2.) 肯定述語の場合

肯定述語	詳細	例の数
形容詞	いい / 平気 / カッコいい / 急な / 高い / 若い / 強い / 充分な / おいしい / 小っちゃい / 少ない/OK	12
動詞	いける/いる/響く	3
名詞	指名/体ありまくり	2
合計		17

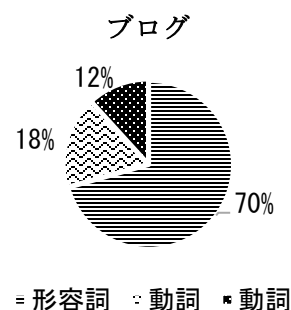
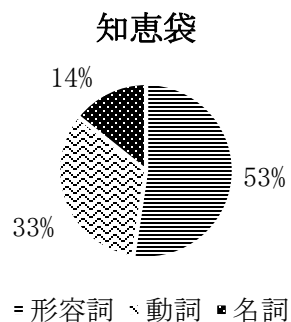


表7・図7 「ブログ」における「全然」+肯定述語にみられる品詞

以上の表7と図7によると、ここでは3つの品詞が見つかった。最も多く見つかった品詞は「形容詞」である。12例であり、これは全体の70%を占める。次に多かったのは「動詞」で3例あった。これは18%を占める。名詞述語の例は2つしか見つからなかった。

肯定述語	詳細	例の数
形容詞	いい / 大丈夫 / 平気 低い / ましな / おしゃれな / きれいな / すごい / へっちゃらな / 楽な / OK	11
動詞	いける / 変わる / ある / 走れる / すっきりする / あり得る / 信用できる	7
名詞	普通 / 余裕 / あり	3
合計		21

表8・図8 「知恵袋」における「全然」+肯定述語にみられる品詞



「知恵袋」の調査結果によると、これも「ブログ」同様「形容詞」「動詞」「名詞述語」の順に多くみられた。ここでは、「ある」と「あり」という肯定述語が見られ、品詞が違うため、別に分類した。

肯定述語	詳細	例の数
形容詞	いい / 大丈夫 / 平気 / 速い / 可能な / 悪い / やりにくい / 安い / 甘い	9
動詞	変わる / ある / いける / 行く / リラックスする 成り立つ / 感じる / 詠む	8
名詞	同じ / そっちのけ / あり	3
合計		20

表9・図9 「朝日」における「全然」+肯定述語にみられる品詞

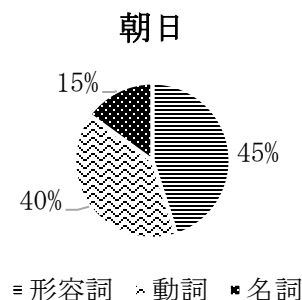
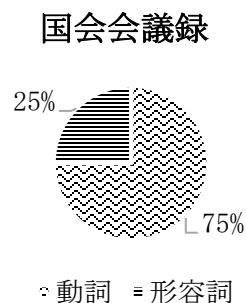


表9と図9が示すように、これも「形容詞」「動詞」「名詞」の順に見られた。また、朝日でも「知恵袋」のように「ある」と「あり」という肯定述語が出てきた。

肯定述語	詳細	例の数
動詞	抜ける / 変わる / とっちゃんかっちゃんになる	3
形容詞	ばらばら	1
合計		4

表10・図10 「国会会議録」における「全然」+肯定述語にみられる品詞



「国会会議録」の調査結果によると、これは例が少なかったこともあるが、動詞が3例、形容詞が1例のみであった。このように「ブログ」「知恵袋」「新聞」「国会会議録」を見ていくと、「全然」+肯定として最も多いのは形容詞だということが分かった。次に動詞、そして最後に名詞述語が来ることが分かった。

3.2.3. 「全然」と共起する肯定述語について

本節では「ブログ」、「知恵袋」各 1000 語、「朝日」500 語、そして、「国会会議録」347 語を取り上げて調査した。以下に、「全然」と共起する肯定述語の言葉を示す。

1.) 「ブログ」と「知恵袋」による「全然」の肯定述語の調査結果

ブログ	
肯定述語	数
いい	15
平気	15
かっこいい	2
OK	1
いける	1
高い	1
その他**	10
合計	45

知恵袋	
肯定述語	数
OK	13
いい	10
大丈夫	10
平気	5
変わる	4
あり(名詞)	3
普通	3
まし	3
ある(動詞)	2
低い	2
走れる	1
その他**	10
合計	66

表 11 「ブログ」による「全然」+肯定述語の調査結果 表 12 「知恵袋」による「全然」+肯定述語の調査結果

表 11 が示すように、「ブログ」の調査によって見つかった肯定述語の数は 45 である。「ブログ」の中で、最も多く使われていた肯定述語は「いい」と「平気」であり、各 15 例である。一方、表 12 が示すように、合計 66 の肯定述語が見られた。「知恵袋」の中で、最も多く使われていた肯定述語は「OK」であった。次に、「ブログ」同様「いい」があった。また、「平気」と意味的に類似した「大丈夫」も 10 例あった。「全然+肯定」が「ブログ」よりも「知恵袋」の方に少し多く見られたのは、「知恵袋」のほうが話し言葉に近いからではないかと考えられる。

2.) 「朝日」と「国会会議録」による「全然」の肯定述語の調査結果

国会会議録	
肯定述語	数
変わる	1
抜ける	1
ばらばら	1
とっちゃんかっちゃんになる	1
合計	4

朝日	
肯定述語	数
いい	10
大丈夫	8
あり(名詞)	4
ある(動詞)	3
平気	3
OK	2
いける	2
速い	1
他	14
合計	46

表 13 「国会会議録」による「全然」+肯定述語の調査結果 表 14 「朝日」による「全然」+肯定述語の調査結果

表 13 の調査結果によると、「国会会議録」では、予想通り、4 例しか見られなかった。「ブログ」や「知恵袋」とは違い、カジュアルな話し言葉ではないため、少なかったのだと考えられる。ところが、表 14 が示すように、オンラインの「朝日」の調査では、意外にも 46 もの例が出てきた。「朝日」の中で、最も多く使われていた肯定述語は「いい」である。これは、先ほど見た「ブログ」など同じような結果だと言える。

新聞という、堅い言葉を使うメディアで、なぜこれほど多くの全然＋肯定述語が出てきたのだろうか。それは、ここに出てきた 46 例はほとんど全てインタビュー記事であったからである。つまり、新聞とはいっても、話し言葉の部分で「全然」＋肯定が出てきたということになる。逆に言えば、インタビュー記事以外の部分では、「全然」＋肯定が見られなかったことになる。

「国会会議録」の調査結果によると、これは例が少なかったこともあるが、動詞が 3 例、形容詞が 1 例のみであった。このように「ブログ」「知恵袋」「新聞」「国会会議録」を見ていくと、「全然」＋肯定として最も多いのは形容詞だということが分かった。次に動詞、そして最後に名詞述語とすることが分かった。

4. まとめ

4.1 調査結果から、全体として「いい」またはそれに類似したという肯定述語が多くみられることが分かった。そして、これらには程度を表すという共通点が見られた。工藤 (1999) では、程度を表す述語というのは、程度、量、頻度を表すというものであり、「全然」は形容詞、動詞、名詞でも共起できるが、その述語は程度を表す述語でなければならないと述べられていた。工藤は、否定述語に関する考察を行ったが、これは肯定述語にも同様に言えることが分かった。

4.2 「全然」と共起する肯定述語の内、最も多いのは形容詞、次に動詞、名詞が続くことが分かった。

4.3 今回対象にした「ブログ」「朝日」「国会会議録」の中で、「国会会議録」のみ、肯定述語の例が少ないことが分かった。「国会会議録」において用いられる表現は公式的なものである。したがって、「全然」＋肯定は一般的に公式的な表現には使わず、非公式的な表現にのみ使うことが考えられる。今回新聞で「全然」＋肯定が多く見られたのは、インタビュー記事の部分だけでありその他の部分では「全然」＋肯定は見られなかった。

4.4 「全然」と共起する肯定述語には、意味が類似した動詞と名詞の例が見られた。例えば、「あり」と「ある」などである。この 2 つは品詞が違っても、「全然」と共に使われていることが分かった。ただし、その名詞は程度性をもつ必要がある。つまり、「ある、あり」のような程度、量、頻度に表す言葉の意味ということである。

5. 日本語教育への提言

本節では、日本語の教科書でどのように説明すればよいかについて、提言を行う。

本研究では、世界中で最も広く使われている『みんなの日本語初級 I 翻訳・文法解説』を見ていく。以下は、文法解説書に書かれた語の英訳である。

よく		well, much
だいたい		mostly, roughly
たくさん		many, much
すこし	少し	a little, a few
ぜんぜん	全然	not at all (used with negatives)
はやく	早く、速く	early, quickly, fast

図 11 教科書による「全然」の単語説明 (P. 59)

図 11 から分かるように、「全然」は”used with negatives”と書かれている。しかし、調査結果からも明らかなように、話し言葉においては肯定述語も共起できることから、“used with negatives”という説明のみでは、学習者が「全然」を伴う文を聞いた際に誤解してしまう可能性がある。

3. よく/だいたい/たくさん/少し/あまり/全然

These adverbs are placed before verbs to modify them.

	Adverbs of degree	Adverbs of quantity
Used with an affirmative	よく わかります だいたい わかります すこし わかります	たくさん あります すこし あります
Used with a negative	あまり わかりません ぜんぜん わかりません	あまり ありません ぜんぜん ありません

⑤ 英語が よく わかります。 I understand English well.
 ⑥ 英語が 少し わかります。 I understand English a little.
 ⑦ 英語が あまり わかりません。 I don't understand English very well.
 ⑧ お金が たくさん あります。 I have a lot of money.
 ⑨ お金が 全然 ありません。 I don't have any money.

[Note] すこし, ぜんぜん and あまり can also modify adjectives.

⑩ ここは 少し 寒いです。 It's a little cold here.
 ⑪ あの 映画は 全然 おもしろくないです。
 That film is not at all interesting.

図 12 「全然」の文法解説

図 13 「全然」と共起する品詞

図 12 を見ると、否定述語の例はあるが、肯定述語と共起する例は紹介されていない。また、「全然」は動詞、形容詞、名詞述語と凶器するか教科書には動詞、形容詞としか書かれていない。(P. 62)

[「全然+否定」の説明]

「全然」 can be used with affirmative predicates. However, they must express degree and quantity.

[Affirmative predicate can be verb, noun, adjective and used in informal expression]

Ex. 全然だいじょうぶです。 I am all right. (adjective)
 全然おなじです。 It's exactly the same. (noun)
 全然かんじます。 I definitely feel at all. (verb)

図 14 「全然」に関する改善した教科書の例

以上のように、これは教科書の修正例である。「全然」は否定、肯定でも共起できるため、「全然」+否定という説明に加えて、「全然」+肯定も記述すべきである。ただし、その肯定は、程度性を持つ述語でなければならない。例えば、「いい、いける、同じ」などである。また、話し言葉や非公式的な表現によく使う。2 つ目は、一般的に「全然」は動詞、形容詞、名詞と結びつくということである。した

がって、教科書でもその 3 つの品詞を全て書いて説明するべきである。3 つ目は、現在、日本語教科書には肯定述語と共起する例文がない。肯定述語と共起する例文を入れれば、学習者にとってより現実に近い日本語の習得が可能となるだろう。

6. 今後の課題

本研究では、「ブログ」、「知恵袋」、「朝日」、「国会会議録」による否定述語は品詞のみ調査したが、対象の例については精査していない。また、今後は、より多くの例について検討していきたい。それから、今回の調査は、2018~2019 年に行ったから、将来は「全然」の否定・肯定にみられる品詞、割合などの調査結果が変わっていく可能性があることを注意し、新しい「全然」のデータで調査する必要がある。さらに、今回の調査結果を今後の調査結果と比較し、データの違いを分析する必要がある。

7. 参考文献

- (1) 梅林博人 (2012) 「『全然』再考 -迷信、アプレ、前提の否定など-」 『相撲国文 39、P. 71-82』
- (2) 尾谷昌則 (2006) 「構文の確立と語用論的強化『全然～ない』の用例を中心に」 『【日本語用論学会 大会研究発表論文集】 2 日本語用論学会』
- (3) 工藤真由美 (1999) 「否定と呼応する副詞をめぐる -実態調査から-」 『大阪大学文学部気紀要(第 39 卷)、P. 69-107』
- (4) 佐野真一郎 (2012) 「『日本語話し言葉コーパス』を用いた「全然」の変化の詳細化」 『第 1 回コーパス日本語学ワークショップ、P. 33-42』
- (5) 鈴木英夫 (1993) 「新漢語の受け入れについて—『全然』を例として—」 『松村明先生喜寿記念 会編【国語研究】、P. 428-449、明治書院』
- (6) 野田春美 (2000) 「『ぜんぜん』と肯定形の共起」 『計量国語学 22:5、P. 169-182、計量国語学会』
- (7) 服部匡 (2007) 「大規模コーパスを用いた副詞『全然』の共起特性の調査」 『同志社女子大学学術研究年報 2007 年第 58 卷、P. 1-8. 』

บทคัดย่อ

รายงานวิจัยเล่มนี้มีเนื้อหาเกี่ยวกับการใช้ 全然 ในรูปประโยคบอกเล่า เป็นอย่างไร มีอะไรเกี่ยวข้องบ้าง ใช้วิธีการเก็บข้อมูลจากYahoo!บล็อก、Yahoo!知恵袋、朝日新聞 และ 国会会議録 โดยการใช้ออร์บัส 現代日本語書き言葉コーパス และเว็บเพจของอาซาฮีซิมบุน โดย Yahoo!บล็อก、Yahoo!知恵袋 ใช้ตัวอย่างรูปประโยคบอกเล่าที่ใช้คู่กับ 全然 มาอย่างละ 5000 ประโยค 朝日新聞 ใช้ตัวอย่าง 1000 ประโยค และ 国会会議録 ใช้ตัวอย่างทั้งหมดเนื่องจากมีน้อย แล้วจึงนำมาออกความเห็นในหนังสือเรียน みんなの日本語 初級 I ผลจากการศึกษาทำให้ทราบได้ว่า ในรูปประโยคบอกเล่าที่ใช้คู่กับ 全然 เมื่อเทียบกับรูปปฏิเสธแล้วมีน้อย ในรูปบอกเล่านั้นมีการใช้คำมากที่สุดคือคำว่า ㄐㄐ และความหมายใกล้เคียงของ ㄐㄐ และพบว่า ทั้งรูปประโยคปฏิเสธและประโยคบอกเล่าที่ใช้คู่กับ 全然 ชนิดของคำที่ถูกใช้มากที่สุดคือ คำคุณศัพท์ และพบว่า 全然 สามารถใช้คู่กับคำกริยาที่เปลี่ยนเป็นคำนาม หรือคำนามที่เปลี่ยนเป็นคำกริยาได้ เช่น ある, あり เป็นต้น นอกจากนี้ยังสรุปได้อีกว่า รูปประโยคบอกเล่าที่ใช้คู่กับ 全然 นั้น มักจะใช้กับรูปประโยคที่ไม่เป็นทางการ เช่น การพูดที่ใช้ในชีวิตประจำวัน เป็นต้น

「なるほど」の意味についての分析

— 日本人と外国人留学生の解釈 —

ヌラシアー・シティ

Analysis of the Meanings of “Naruhodo”

Interpretations of Native Japanese Speakers and Foreign Students

Nurasiah Siti

<要旨>

本研究では、あいづちの中でも、意味的な曖昧さを含む「なるほど」というあいづち詞を取り上げた。更に、あいづちであるとともに配慮表現の一つである賛同表現である「なるほど」の解釈を、日本人と外国人の日本語学習者を対象に調べることによって、両者の差を比較した。具体的には、「なるほど」という言葉が「理解している」という意味を表しているか、また「共感・賛同している」という意味を表すかどうかについてアンケート調査をした。調査の結果、「なるほど」は、日本人にとっては「理解している」という意味であるが、「共感・賛同している」という意味ではない。一方、外国人にとっては、「なるほど」は「理解している」という意味であり、又「共感・賛同している」という意味でもある。

キーワード： あいづち、賛同表現、解釈

1. はじめに

日本人同士の会話においては、話を円滑に進めるためにあいづちの使用は必要不可欠なものである。あいづちを打つことによって、話し手は聞き手の反応を伺うことができ、その反応を見ながら、話を展開し、発展させていく。その意味からいうと、「日本語において、「はい」、「なるほど」等のあいづちが伝達できる意味はそれらの語彙自体の意味を遥かに超えると考えられる」と鄒 (2002, p.95) は指摘している。あいづちの使用によって、会話は滑らかで自然に進められる。そして、他の情報も順調に伝達できる。

また、日本人の会話の中では、配慮表現に使用もよく見られる。配慮表現とは、話している相手との関係を良好に保つために用いられる表現であるが、その表現は、直接的な言語行動を避け、間接的・婉曲・曖昧な表現を特徴としている。こうした曖昧な表現は、メッセージが正確に伝わっているかどうかを、メッセージの受信者の解釈にある程度任せなければならない。

本稿では、「なるほど」という表現を特に取り上げる。「なるほど」は、あいづちであり、また配慮表現の中の賛同表現に区分される。この「なるほど」という表現が、相槌としてのどのような機能を果たしているか、また配慮表現としてのどのような機能を果たしているかを調べるのが本研究の目的である。

更に、「なるほど」の機能について、日本人と日本語学習者である外国人の解釈の違いも調べた。前述のように、日本人は相手に配慮して、物事をわざと曖昧に表現して、どぎつさを回避する表現方法をとっている(楊・曹 2005)。一方、こうした曖昧性を含む言葉の解釈は、日本語学習者である外国人にとっては習得が難しいとされている。日本人と外国人の解釈を比べることによって、日本語学習者にとっての日本語学習の難しさを明らかにする。

土屋(2012)が指摘する通り、「なるほど」に関する先行研究は多くない。本研究は、こうした先行研究の蓄積が少ないという事情を考えて、その空白に一つのデータを与えるものである。

2. 先行研究

2.1. あいづち

2.1.1. あいづち表現の分類

あいづちとは、「話し手が発話権を行使している間に、聞き手が話し手から送られた情報を共有したことを伝える表現」(堀口 1997, p.42)である。日本人同士の会話においては、話を円滑に進めるためにあいづちの使用は必要不可欠なものである。あいづちを打つことによって、話し手は聞き手の反応を伺うことができ、その反応を見ながら、話を展開し、発展させていく。一方、聞き手は話し手に色々な信号を送りながら話を聞き、話の進行を助けたり、時には流れを遮ったりしながら話を進めていく(堀口 1997)。その信号の表現形式について、下記のように整理しておく(鄒 2002, pp.95; 大塚: 2005, p.57)。

(1) あいづち詞

一般にあいづち詞と言われているのは「ハイ」、「エー」、「ソー」、「ん」、「ほん」と、「なるほど」などの応答詞と感動詞である。

(2) 繰り返し

聞き手は先行する発話の一部または全部繰り返す。相手の発話を繰り返すということは、相手の話を聞いているということの現れであるから、これも機能的にはあいづちと考えられる。

(3) 言い換え

言い換えるということは話し手の発話の内容を聞き手が自分の言葉で再現することで、聞き手が用いる語句は話し手の発話に用いられたものと異なるが相手の発話を聞いている、あるいは理解しているということの現れであるため、これも機能的にはあいづちと考えられる。

(4) 先取り

話し手が言い終わらないうちに聞き手が先を予測し、その予測に基づき打つ先取りのあいづちも表現形式の一つとして考えられる。

一般的にあいづちと呼ばれる最も典型的なものはあいづち詞であるが、繰り返し、言い換え、先取りも、「話し手から送られた情報を共有」という点においては同様の機能をもつと考えられ。これらはあいづち詞よりもより積極的に話し手の発話に関わることになる

本研究では、あいづちの中でも、意味的な曖昧さを含む「なるほど」というあいづち詞を取り上げる。

2.1.2. あいづちの機能

自然な会話において、あいづちが果たす具体的な働きは次のように分類できる（鄒 2002, pp.95-96；堀口 1997, p. 42；大塚 2005, p. 56）。

(1) 聞いているという信号

聞き手は「はい」、「ええ」などのあいづちで「あなたの話を聞いているよ」ということを伝えて、話し手に安心感を与え、会話を展開させる。

(2) 理解しているという信号

話し手は、聞き手が発するあいづちによって、聞き手がそこまでの話を理解しているか否か判断でき、もう一度前の話に戻るか、次へ行くかを定めることができる。

(3) 同意の信号

聞き手は話し手のことを聞いて理解した上で、さらにそれに同意であるという信号を送ることができる。同意を表す「そうそう」、「うん」、「その通りである。」などの言葉がよく使われる。

(4) 否定の信号

聞き手は話し手の言うことを聞いて、理解したが、賛成あるいは納得できないという信号を送ることができる。

(5) 感情の表出

聞き手のあいづちによって、話し手は相手が自分の言うこと聞いて感じた驚き、喜び、悲しみ、怒り、疑い、同情、労り、嫌遜などのいろいろな感情を察することができ、話題及び話し方の調整ができる。

上記の機能のうち、(1) はあいづちの最も基本的な機能であり、全てのあいづち表現が果たす機能である。前に述べた通り、あいづちは「話し手が発話権を行使している間に、聞き手が話し手から送られた情報を共有したことを伝える表現」（堀口 1997, p.42）であるので、この機能は必ず果たされなければならない。(2) ～ (5) については、状況やあいづち表現の種類によって果たされない場合もある。例えば、堀口 (1997)、メイナード (1993)、村田 (2000) は、あいづちには「理解しないまま『聞いています』という信号を送る場合」と「理解し、かつ『聞いています』という信号を送る場合」があると主張している（堀口 1997, p.42-60；メイナード 1993, p.160；村田 2000, p.243）。

「なるほど」は、上記の機能の中で、(1)、(2)、(3) の機能を果たす可能性があると考えられる。特に (3) の同意の信号は「なるほど」という言葉の意味に含まれるものであり、「なるほど」はあいづち

詞であると同時に、配慮表現の中の賛同表現として、賛同・共感の意味を表すとされている。次の章では、この配慮表現について詳しく考察する。

2. 2. 配慮表現

2. 2. 1. 賛同表現としての「なるほど」

配慮表現とは、「対人的コミュニケーションにおいて、相手との対人関係をなるべく良好に保つことに配慮して用いられる言語表現（山岡・牧原・小野 2010, p.143）」である。このような機能を持つ言語表現は日本語では日常的に使われている。山岡（2018）による配慮表現の機能分類では、下位区分を「利益表現、負担表現、緩和表現、賞賛表現、謙遜表現、賛同表現、共感表現」の7種としている。以下に区分ごとの代表的な表現例を示す。各区分内に小区分のあるものは①②と分けて示す（山岡 2018, p.5）。

I 利益表現	①自利大	おかげさまで、ぜひ、～れば幸いです
	②他利小	つまらないものですが、何もありませんが、ご笑納ください
II 負担表現	①他負大	お忙しいところ、わざわざ、お足元の悪いところ、お手数ですが、ご面倒ですが、可能なら、よろしかったら
	②自負小	ぜんぜん、大丈夫、喜んで、ついでに
III 緩和表現	①侵害抑制	かもしれない、どちらかと言えば、言えなくもない
	②不一致回避	かもしれない、のほう、的には、とか
IV 賞賛表現		さすが、すごい、お見事、恰幅がいい、健康的、恐れ多くも
V 謙遜表現	①自賛抑制	まだまだ、そこそこ、一応、自慢じゃないけど
	②自己非難	僭越ながら、若輩者、不束者、出来の悪い、高い所から
VI 賛同表現		なるほど、たしかに、まったく、もの、ごもつとも
VII 共感表現		大変ですね、よかったですね、おつかれさま、それな、ですよ

ここで、「なるほど」は賛同表現に分類されている通り、賛同・共感の意味を表す。上の7分類はすべて Leech (1983) のポライトネスの原理、および山岡・牧原・小野 (2010) の配慮表現の原理（気配りの原則と寛大性の原則）を反映したものとなっている。その対応関係は以下の通りである。配慮表現の代表例を添えて、下記表に示す。表の中の (P) は、後述のポジティブポライトネスを意味し、(N) はネガティブポライトネスを意味する

	ポライトネス (Leech 1983) / 配慮表現の原理 (山岡・牧原・小野 2010)	山岡 (2018) の機能分類	配慮表現の例
ア) 他者の利益・負担	(a) 他者の負担が大きいと述べよ (P)	II 負担表現①他負大	ご多忙のところ
	(b) 他者の利益が小さいと述べよ (N)	I 利益表現②他利小	つまらないものですが
イ) 自己の利益・負担	(c) 自己の利益が大きいと述べよ (P)	I 利益表現①自利大	おかげさまで
	(d) 自己の負担が小さいと述べよ (N)	II 負担表現②自負小	ぜんぜん
ウ) 他者への非難・賞賛	(e) 他者への非難を最小限にせよ (N)	III 緩和表現①侵害抑制	ちょっと
	(f) 他者への賞賛を最大限にせよ (P)	IV 賞賛表現	さすが
エ) 自己への非難・賞賛	(g) 自己への賞賛を最小限にせよ (N)	V 謙遜表現①自賛抑制	まだまだ
	(h) 自己への非難を最大限にせよ (P)	V 謙遜表現②自己非難	僭越ながら
オ) 自他の意見の相違・一致	(i) 自他の意見相違を最小限にせよ (N)	III 緩和表現②不一致回避	どちらかと言えば
	(j) 自他の意見一致を最大限にせよ (P)	VI 賛同表現	たしかに
カ) 自他の反感・共感	(k) 自他の反感を最小限にせよ (N)	III 緩和表現②不一致回避	かもしれない
	(l) 自他の共感を最大限にせよ (P)	VII 共感表現	おつかれさま

表 1. ポライトネスの原理と配慮表現の機能分類との相関関係 (山岡 2018, p.6)

Leechのポライトネスの原理は、対人関係上の行為として相手にとって望ましいもの（利益、賞賛、一致）を最大化し、相手にとって望ましくないもの（負担、非難、不一致）を最小化しようとする原理を上記 ア～カ）の6種の原則で表現したものである。自身が相手の目にどう映るかという観点から、自分に対する行為は、相手に対する行為とは逆向きベクトルの志向性を有する。例えば、他者への非難は望ましくないので避けたいが、自己への非難を相手の前で行うと、相対的に相手を高める行為と映るので相手にとって望ましいものとなる。これらの原則群のうち最大化を図る行為は Brown & Levinson (1987) のポジティブポライトネス(P)に当たり、最小化を図る行為は同じくネガティブポライトネス(N)に当たる。

2. 2. 2. 配慮表現の意味的な曖昧さ

上記のような配慮表現は直接的なメッセージを和らげる機能があり、その使用は明らかに日本人の特質を反映している。楊・曹 (2005) の先行研究によると、日本人の価値観としてもっとも顕著なものは「和を以って尊しとなす」という精神だとされている。この日本人の座右の銘が、日本人社会に同質性と集団性を特徴付けたと思われる。日本人の言語生活においても、集団の中では、日本人はなによりも「和」を重んじているので、周囲の人や、話の相手には悪い、相手を傷つける、困らせる、相手に恥をかかせる、といった言語行動を極力避けているのである。このいたわりを美德としている日本人だから、「争わない」あるいは「遠慮する」ことが多い。また、「かどが立つ」ことを悪徳と考えているため、政治家の発言にも頻繁に「善処します」、「…じゃないか」、「……のほう」といった、「かどが立たない」表現が使われる。自己主張をするにしても、相手の感情を傷つけないように、なるべく相手に嫌われないように、遠回しに主張を

するのがいいと考えている。相手の意見と自分の意見が違っても、日本人は「それも一理ありますが……」といった譲歩の表現をまず話の頭に持ってきてから、自分の主張を言うケースが多い。

一方、直接的な表現を避ける日本人の言語行動は、メッセージが正確に伝わっているかどうかを、メッセージの受信者の解釈にある程度任せなければならない。日本人の伝統的な文化は、言葉のやりとりを少なく、また「察し」の文化であると言えるが、受信者が送信者のメッセージを「察する」ことに失敗すれば、その結果間違った解釈を生むという可能性も考えられる。例えば塩田（2012）の研究によると、様々な定型配慮表現について、日本人の中でもその捉え方に差があることを示している。

こうした意味的な曖昧さについて、特に「なるほど」という賛同表現に注目して考えてみると、「なるほど」が本当に賛同・共感を意味するのか、それとも自分の意見と相手の意見が食い違っても譲歩して「なるほど」という表現が使われるのかという問題に行き当たる。例えば、大野（1997）は、「なるほど」は「感心・納得・同意」（つまり賛同）を意味することもあるし、「譲歩」（そしてその後反論が続く）を意味することもあると言っている。こうした曖昧さについて、次章では特に外国人学習者にとっての難しさについて述べる。

2. 3. 日本人の解釈と外国人の解釈

前の章で、日本人の表現の曖昧性が、聞き手の間違った解釈を生む可能性があると言ったが、こうした曖昧性を含む言葉の解釈は、日本語学習者である外国人にとっては習得が難しいとされている（刘・都・宋 2011）。日本語の学習者である外国人留学生在が日本人と対話をスムーズにする為には、コミュニケーションの参加者がニュアンスやコンテキストを明らかに理解する必要がある。前段で触れたが、日本人の用いるコミュニケーション・パターンの一つの特徴として、石井（1987）の指摘するように、察しを基本とした遠慮・察し型のコミュニケーション・パターンを挙げることができる。つまり、日本人は、コミュニケーションにおいて言語メッセージだけではなく、コンテキスト（状況）それ自体に多くの情報を委ね、メッセージの受信者がその情報を察することができるように仕向けるという方法を用いることが多い。従って、外国人の日本語学習者が日本人の用いる遠慮・察し型のコミュニケーション方法を理解できなかつたら、両者の間に言語表現の方法、あるいは場面に対する解釈にギャップが生まれるのではないだろうか。

日本語学習者である外国人を対象とした先行研究の一つである小宮・平形・長能（2001）の研究によると、中国人・韓国人・台湾人留学生の多くは「相手の気持ち、立場を考えて話す」、「相手に敬意を持って話す」、「相手の話をよく聞く」という日本人のコミュニケーションにおける配慮を好きな点として挙げている一方、70%以上の回答者が、日本人が「自分の考えをはっきり言わない」という日本人の曖昧な表現を好きではないと答えている。また、刘・都・宋（2011）は、日本人の曖昧な表現によって「本当の意図がわかりにくい」と悩む外国人留学生在が少なくないと述べている。こうした観察は、外国人と日本人の間のコミュニケーションでは、日本人の表現の曖昧さによって間違った解釈が生まれる可能性が高いということを示している。藤巻（1996）は特に「考えておきます」などの断りの表現の解釈について、日本人の解釈と中国人

留学生の解釈を比較しているが、本研究では、あいづちであるとともに配慮表現の一つである賛同表現である「なるほど」の解釈を、日本人と外国人を対象に調べることによって、両者の差を比較する。

3. 調査方法

3.1. 調査の目的

本研究は、上記表あいづちの機能の中で特に賛成の意味を対象を絞って、対話の中で「なるほど」が現れるとき、受信者がこれに対してどのようなメッセージを受け取るのか分析することを目的としている。第2章2.1.2で、「なるほど」という言葉が果たし得る機能は(1) 聞いているという信号、(2) 理解しているという信号、(3) 同意の信号であると述べた。この中で、(1) は全てのあいづち表現が果たさなければならぬ機能であるが、(2) と(3) については、状況やあいづち表現の種類によって果たされない場合もある。本研究は、「なるほど」という言葉が(2) と(3) の機能を果たしているかどうかを調べたものである。下に、本研究の目的をさらに具体的に述べる。

まず、「なるほど」という言葉の解釈の曖昧さとして考えられるのは、「なるほど」というあいづち表現の「理解しているという信号」という機能に関するものであるが、第2章で述べた通り、堀口(1997)、メイナード(1993)、村田(2000)は、あいづちは「理解しないまま『聞いています』という信号を送る場合」と「理解し、かつ『聞いています』という信号を送る場合」があると主張している(堀口1997, p.42-60; メイナード1993, p.160; 村田2000, p.243)。従って、本研究の一つ目の目的は下のように表される。

目的①「なるほど」という言葉は、「理解している」という意味を表すか。

「なるほど」という言葉が果たす可能性があるもう一つの機能は、「同意の信号」である。前述の通り、「なるほど」という言葉はあいづちであると同時に日本語の配慮表現の中の賛同表現であるので、「なるほど」は、賛同・共感の意味を表すはずである。しかし、前述の大野(1997)が主張するように、賛同表現は、本当に賛同していなくとも、譲歩のために発せられることもある。また土屋(2012)は、「なるほど」の意味は、「賛同」というよりも「理解」に近いということをコーパス分析によって報告している。従って、本研究の二つ目の目的は下のように表される。

目的②「なるほど」という言葉は、「賛同・共感している」という意味を表すか。

更に、本研究では、日本人と外国人の解釈の違いについても調べる。前述の通り、日本人の曖昧なコミュニケーション・パターンは、外国人にとって習得が難しいものである。「なるほど」という言葉の解釈について、外国人が日本人と同じような解釈をしているかどうかについても検証する。従って、本研究の三つ目の目的は下のように表される。

目的③「なるほど」という言葉の解釈について、外国人が日本人と同じような解釈をしているかどうか。

以上の三つが本研究で調査を行う目的である。

3.2. 被験者

被験者は、日本人（三重大大学の学生及び一般の人）22名及び日本にいる日本語の学習者（三重大大学の中級 II レベル以上の日本語学習者）である外国人 22（中国人 7 名、タイ人 7 名、インドネシア人 6 名、韓国人 2 名）である。特に外国人の被験者を三重大大学の中級 II 以上と限定したのは、調査のための日本語の問題文を正しく理解できるレベルの外国人学習者とするためである。また、外国人の日本語能力試験のレベルは、N1 レベルが 4 名、N2 レベルが 15 名、N3 レベルが 3 名である。性別は、日本人の回答者の中で、男性は 8 名、女性は 14 名であった。外国人の回答者は、男性が 9 名、女性が 13 名であった。年齢は、日本人が 16 歳から 49 歳（平均 24.1）、外国人が 20 歳から 25 歳（平均 22.1）であった。

3.3. 調査方法

調査期間は、2019 年の 5 月から 6 月までで、アンケート調査を採用した。アンケート調査では、名前、性別、年齢、国籍、日本語能力レベルを記入させた後、問題に答えてもらった。上述のように、日本人は「察し」を基本として、曖昧な表現を多く使ってコミュニケーションをする。「なるほど」という表現に対する日本人及び日本語の学習者の解釈については、以下の例のような会話文を使った問題の回答によって示される。また、この会話文は、できるだけ自然な日本人の会話を再現するために、『BTSJ 日本語自然会話コーパス (宇佐美 2018)』から「なるほど」を含む会話文を検索し、その会話文を修正して使用した。調査にあたっては、このような会話文を 12 個用意し、それぞれに二つの質問を与えた。

会話 1：初対面の大学生二人が、大学で話しています。	
<p>A: ちょっと今日、久々に学校来ましたね。 B: 今日すごく混んでいますね。 A: え、これで混んでるんですか？ B: 休みにしては、けっこう混んで…。 A: わたしこんなもんなのかなと思ってたけど B: いや、昨日もちょっとだけ来たんだけど、昨日は全然、 A: がらがら、ですか。 B: そう、昨日は誰もいなかったのに、今日来たら、けっこういて、びっくりしちゃった。 A: <u>あー、なるほど</u>。夏休み、どっか、行ったりしないんですか？ B: いやー、今年はお金がなくて。</p>	<p>初対面：今まで一度も会わなかった人と初めて顔を合わせる事。初めての面</p> <hr/> <p>混む：人・物などがその場所いっぱい集まる。(To be crowded)</p>
<p>質問：上の会話の「なるほど」は、どういう意味ですか。下の質問に教えてください。</p>	
<p>Bさんの「なるほど」は、「Aさんの話を理解しています」という意味ですか。</p>	

- 1 はい、そうです。
- 2 多分、そうだと思います。
- 3 わからない。
- 4 多分、そういう意味じゃないと思います。
- 5 いいえ、そういう意味じゃありません。

理解する : 物事の道理や筋道が正しく
わかること。他人の気持ちや立場を察す
ること。(Understanding)

Bさんの「なるほど」は、「Aさんの話に共感・賛同しています」という意味ですか。

- 1 はい、そうです。
- 2 多分、そうだと思います。
- 3 わからない。
- 4 多分、そういう意味じゃないと思います。
- 5 いいえ、そういう意味じゃありません。

共感 : 他人の考え、主張、感情を、自分もその通りだ
と感じること。また、その気持。(Sympathy, agree)
賛同:他人の意見・提案などに、賛成・同意すること。

上に示される、一つ目の質問「Bさんの「なるほど」は、「Aさんの話を理解しています」という意味ですか」は、単純に、Aさんの話を理解したかどうかを調べている(調査の目的①)。二つ目の質問「Bさんの「なるほど」は、「Aさんの話に共感・賛同しています」という意味ですか」は、Aさんの話を理解した上で更にAさんの話に賛同しているかどうかを調べている(調査の目的②)。また、被験者は日本人と三重大学で中級 II 以上の日本語レベルと判定された日本語学習者であるが、これは日本人と日本語学習者の間に、「なるほど」の解釈に差があるかを調べるためである(調査の目的③)。会話文の中で、日本語学習者にとって比較的難しいと思われる言葉に関しては、上記の例にあるように、語彙的説明を載せた。

上記のアンケートは、Google Forms を使って、被験者にアンケートのリンクを送信し、オンライン上で回答させた。

4. 結果

4.1. 「なるほど」は「理解している」という意味か

被験者が「なるほど」というあいづちに関してどのような意味を受け取るのかを分析する。まず、調査の目的①「「なるほど」という言葉は、「理解している」という意味を表すか。」を調べるために設定した質問「(i) Bさんの「なるほど」は、「Aさんの話を理解しています」という意味ですか。」の結果について報告する。(i)の質問に対しての結果を下の表に示す。日本人も外国人も、もっとも多かった回答が「はい、そうです」であり、次に多かった回答は「多分、そうだと思います」であった。この回答を見ると、外国人や日本人も「なるほど」というあいづちに対して、相手の話を聞いた上で、理解しているという意味を表していることが分かる。

質問	回答	外国人 (総回答数 264)	日本人 (総回答数 264)
Bさんの「なるほど」は、「A	1. はい、そうです	60.2% 回答数 159	41.7% 回答数 110

さんの話を理解しています」という意味ですか	2. 多分、そうだと思います	19.7% 回答数 52	32.6% 回答数 86
	3. わからない	3.4% 回答数 9	6.4% 回答数 17
	4. 多分、そういう意味じゃないと思います	6.8% 回答数 18	11.4% 回答数 30
	5. いいえ、そういう意味じゃありません	9.8% 回答数 26	8.0% 回答数 21

表2. 「なるほど」は、「理解している」の信号

更に、質問に対する肯定的な2つの回答「はい、そうです」と「多分、そうだと思います」を一つのグループとし、また否定的な2つの回答「多分、そういう意味じゃないと思います」と「いいえ、そういう意味じゃありません」を一つのグループとして、比較した。結果を下の表に示す。

質問	回答	外国人 (総回答数 264)	日本人 (総回答数 264)
Bさんの「なるほど」は、「Aさんの話を理解しています」という意味ですか	1. はい、そうです	79.9%	74.2%
	2. 多分、そうだと思います	回答数 211	回答数 196
	4. 多分、そういう意味じゃないと思います	16.7%	19.3%
	5. いいえ、そういう意味じゃありません	回答数 44	回答数 51

表3. 「なるほど」は、「理解している」の信号

日本人も外国人も、数値が非常に似ている。どちらも、「なるほど」を、「理解している」という意味で捉えていることが分かる。

4.2. 「なるほど」は「共感・賛同している」という意味か

一方、アンケート調査の(ii)の質問についての回答を下の表に示す。日本人の回答の中で、最も多かった回答は「多分、そういう意味じゃないと思います」で、次に多かったのが「いいえ、そういう意味じゃありません」であった。一方、外国人の回答の中で、最も多かった回答は、「はい、そうです」であり、そして次に多かった回答として「いいえ、そういう意味じゃありません」と「多分、そうだと思います」という回答の数が近い。

質問	回答	外国人 (総回答数 264)	日本人 (総回答数 264)
Bさんの「なるほど」は、「Aさんの話に共感・賛同しています」という意味ですか	1. はい、そうです	30.3% 回答数 80	18.2% 回答数 48
	2. 多分、そうだと思います	20.5% 回答数 54	17.4% 回答数 46
	3. わからない	13.6% 回答数 36	12.1% 回答数 32

	4. 多分、そういう意味じゃないと思います	14.4% 回答数 38	28.8% 回答数 76
	5. いいえ、そういう意味じゃありません	21.2% 回答数 56	23.5% 回答数 62

表4 「なるほど」は、「共感・賛同している」の信号

更に、質問に対する肯定的な2つの回答「はい、そうです」と「多分、そうだと思います」を一つのグループとし、また否定的な2つの回答「多分、そういう意味じゃないと思います」と「いいえ、そういう意味じゃありません」を一つのグループとして、比較した。結果を下の表に示す。

質問	回答	外国人 (総回答数 264)	日本人 (総回答数 264)
Bさんの「なるほど」は、「Aさんの話に共感・賛同しています」という意味ですか	1. はい、そうです	50.8% 回答数 134	35.6% 回答数 94
	2. 多分、そうだと思います		
	4. 多分、そういう意味じゃないと思います	35.6% 回答数 94	52.3% 回答数 138
	5. いいえ、そういう意味じゃありません		

表5 「なるほど」は、「共感・賛同している」の信号

日本人の回答と外国人の回答がほとんど真逆の結果を示している。この結果を見ると、Aさんの話に共感・賛同しているかどうかという質問に対して、日本人と外国人の間に回答の差異が生まれたかのように見える。すなわち、「なるほど」は日本人にとっては、「共感・賛同」という賛同表現の機能は薄い、外国人留学生にとっては「共感・賛同」の意味を表す賛同表現でもある。

5. 考察

調査の結果、第一に、「なるほど」は日本人にとっては「理解している」という意味を持っているが、「共感・賛同している」という意味ではないということが明らかとなった。第二に、外国人の日本語学習者にとっては「なるほど」は「理解している」という意味であり、「共感・賛同している」という意味でもある。すなわち、日本人にとっては、「なるほど」は、「理解している」というあいづちの機能を持っているが、「共感・賛同」という賛同表現の機能は薄い。日本語の「なるほど」は、賛同表現であるので、その言葉自体に賛同・共感の意味が含まれているはずであるが、土屋(2012)が主張する通り、実際には賛同・共感を示すことは少ないようである。それに対して、外国人学習者は、「なるほど」という言葉が意味する賛同・共感のそのまま意味で解釈している。日本人が実際には賛同していなくとも「なるほど」という言葉を使うことに対して、その習得が難しいことが分かる。

6. その他の要素による比較

本研究では、上の調査の結果を、様々な要素によっても影響を受けているかについて調べた。具体的には、被験者の性別、外国人の被験者の日本語能力レベル、そして外国人の被験者の出身国によって違いがあるかも分析した。その結果を下に述べる。

6.1. 性別による違い

前に述べたように、回答者の性別は、日本人は男性は8名、女性は14名であった。外国人は、男性が9名、女性が13名であった。男性と女性の間には、回答の傾向の違いがあったかどうかを調べた。まず、「なるほど」は「理解している」という意味かを調べた質問の結果を下に示す。ここでは、質問に対する肯定的な2つの回答「はい、そうです」と「多分、そうだと思います」を一つのグループとし、また否定的な2つの回答「多分、そういう意味じゃないと思います」と「いいえ、そういう意味じゃありません」を一つのグループとして、比較した。結果を下の表に示す。

質問	回答	外国人 男 総回答数 108	外国人 女 総回答数 156	日本人 男 総回答数 96	日本人 女 総回答数 168
Bさんの「なるほど」は、「Aさんの話を理解しています」という意味ですか	1. はい、そうです 2. 多分、そうだと思います	69.4% 回答数 75	83.3% 回答数 130	69.8% 回答数 67	76.8% 回答数 129
	4. 多分、そういう意味じゃないと思います 5. いいえ、そういう意味じゃありません	19.4% 回答数 21	14.7% 回答数 23	24.0% 回答数 23	16.7% 回答数 28

表6 「なるほど」は、「理解している」の信号

結果を見ると、男性と女性の回答は同じ傾向を示しているが、強いて言えば、外国人も日本人も、「はい、そうです」と「多分、そうだと思います」という肯定的な回答は、女性の方が少し多く、「多分、そういう意味じゃないと思います」と「いいえ、そういう意味じゃありません」という否定的な回答は、少し男性の方が多い。

次に、「なるほど」は「賛同・共感している」という意味かを調べた質問の結果を下に示す。

質問	回答	外国人 男 総回答数 108	外国人 女 総回答数 156	日本人 男 総回答数 96	日本人 女 総回答数 168
Bさんの「なるほど」は、「Aさんの話に共感・賛同しています」という意味ですか	1. はい、そうです 2. 多分、そうだと思います	55.6% 回答数 75	47.4% 回答数 130	41.7% 回答数 67	32.1% 回答数 129
	4. 多分、そういう意味じゃないと思います 5. いいえ、そういう意味じゃありません	38.9% 回答数 21	33.3% 回答数 23	51.0% 回答数 23	53.0% 回答数 28

表7 「なるほど」は、「共感・賛同している」の信号

結果を見ると、こちらも男性と女性の回答は同じようであるが、強いて言えば、先ほどの「理解している」という意味かどうかという結果とは逆に、外国人も日本人も、「はい、そうです」と「多分、そうだと思います」という肯定的な回答は、男性の方が少し多くなっている。

6.2. 外国人の日本語レベルによる違い

前に述べたように、外国人回答者の日本語レベルは、N1レベルが4名、N2レベルが15名、N3レベルが3名であった。レベルの違いによって、回答の違いがあったかどうかを調べた。普通に考えると、日本語レベルの高い外国人学習者であれば、日本人と似た回答を示すと考えられ、日本語レベルの低い外国人学習者は日本人とはあまり似ていない回答をすると予想できる。N1レベルとN3レベルの回答者数が少ないことを考慮する必要があるが、結果を下に示す。前項と同様、質問に対する肯定的な2つの回答「はい、そうです」と「多分、そうだと思います」を一つのグループとし、また否定的な2つの回答「多分、そういう意味じゃないと思います」と「いいえ、そういう意味じゃありません」を一つのグループとして、比較した。結果を下の表に示す。

質問	回答	外国人 N1 レベル 総回答数 48	外国人 N2 レベル 総回答数 180	外国人 N3 レベル 総回答数 36
Bさんの「なるほど」は、「Aさんの話を理解しています」という意味ですか	1. はい、そうです 2. 多分、そうだと思います	81.3% 回答数 39	77.8% 回答数 140	88.9% 回答数 32
	4. 多分、そういう意味じゃないと思います 5. いいえ、そういう意味じゃありません	16.7% 回答数 8	17.8% 回答数 32	11.1% 回答数 4

表8 「なるほど」は、「理解している」の信号

結果からは、レベルの間に特に大きな違いは見られない。

次に、「なるほど」は「賛同・共感している」という意味かという質問の結果を下に示す。

質問	回答	外国人 N1 レベル 総回答数 48	外国人 N2 レベル 総回答数 180	外国人 N3 レベル 総回答数 36
Bさんの「なるほど」は、「Aさんの話に共感・賛同しています」という意味ですか	1. はい、そうです 2. 多分、そうだと思います	54.2% 回答数 26	44.4% 回答数 80	77.8% 回答数 28
	4. 多分、そういう意味じゃないと思います 5. いいえ、そういう意味じゃありません	39.6% 回答数 19	38.3% 回答数 69	16.7% 回答数 6

表9 「なるほど」は、「共感・賛同している」の信号

この結果からわかることとしては、N3レベルの外国人回答者だけ、「はい、そうです」と「多分、そういう意味だと思います」という肯定的な回答が多く、「多分、そういう意味じゃないと思います」と「いいえ、そういう意味じゃありません」という否定的な回答が少ない。これは、N3レベルの回答者の回答が、日本人の回答と大きく違うことを示している。

6.3. 外国人の国籍による違い

前述したように、外国人回答者の国籍は、中国7名、タイ7名、インドネシア6名、韓国2名であった。国籍によって回答の違いがあったかどうかを調べた。韓国人の回答者数が少ないことを考慮する必要があるが、結果を下に示す。

質問	回答	中国人 (総回答数 84)	タイ人 (総回答数 84)	インドネシ ア人 (総回答数 72)	韓国人 (総回答数 24)
Bさんの「なるほど」は、「Aさんの話を理解しています」という意味ですか	1. はい、そうです 2. 多分、そうだと思います	79.8% 回答数 67	85.7% 回答数 72	76.4% 回答数 55	70.8% 回答数 17
	4. 多分、そういう意味じゃないと思います 5. いいえ、そういう意味じゃありません	20.2% 回答数 17	9.5% 回答数 8	20.8% 回答数 15	16.7% 回答数 4

表10 「なるほど」は、「理解している」の信号

どの国籍の回答者も同じような傾向を示しているが、特にタイ人にその傾向が強いようである。

次に、「なるほど」は「賛同・共感している」という意味かという質問の結果を下に示す。

質問	回答	中国人 総回答数 84	タイ人 総回答数 84	インドネシア人 総回答数 72	韓国人 総回答数 24
Bさんの「なるほど」は、「Aさんの話に賛同・共感しています」という意味ですか	1. はい、そうです 2. 多分、そうだと思います	47.6% 回答数 40	50.0% 回答数 49	48.6% 回答数 35	70.8% 回答数 17
	4. 多分、そういう意味じゃないと思います 5. いいえ、そういう意味じゃありません	42.9% 回答数 36	21.4% 回答数 18	48.6% 回答数 35	20.8% 回答数 5

表11 「なるほど」は、「賛同・共感している」の信号

中国人とインドネシア人の回答が似ており、またタイ人と韓国人の回答が似ていることがわかる。具体的には、中国人とインドネシア人の方が、日本人と似た回答をしており、タイ人と韓国人の方が、日本人と大きく違う回答をしている。

7. 結論と今後の展望

本研究では、日本人と外国人日本語学習者の間に「なるほど」は「理解しているという信号」「共感・賛同という信号」の意味を表すのかを分析し、それぞれの「なるほど」の機能の中で日本人と外国人日本語学習者に解釈の違いがあるのかを考察した。

調査の結果、日本人は、「なるほど」という言葉を使う時、話し手からの情報を直接的に「理解している」が、その情報に「共感・賛同している」という意識を持っていないということが分かった。一方、外国人留学生にとっては、

「なるほど」は「理解している」というあいづちであり、また「共感・賛同」の意味を表す賛同表現でもある。外国人日本語学習者は、「なるほど」という言葉を使う時、話し手からの受けられた情報を「理解している」し、更に、「共感・賛同している」。

本研究で調べられなかった課題としては、「なるほど」が現れる前のコンテキストによって、「なるほど」の意味や解釈が違うという安濃生についてである。例えば森山(2015)は、「なるほど」に先行する発話を、認識表明、情報提供、確認欲求の三つに分けている。これらのコンテキストの違いによって、「なるほど」が持つ意味も変わる可能性がある。また、蓮沼(2018)は、「なるほど」に加え、「なるほどね」、「ああ、なるほど」、「ああ、なるほどね」という表現の違いを分類している。こうした違いによっても、「なるほど」が表す意味が違うかもしれない。こうした課題に取り組むことによって、「なるほど」という表現に対するさらなる理解が進むと考えられる。

<参考文献>

- (1) Brown, Penelope & Stephen C. Levinson. (1987). *Politeness: Some universals in language usage*. Cambridge: Cambridge University Press.
- (2) 藤巻和代(1996)「中国語話者と日本人の日本語による“誤解”～断りの表現を中心に～」『言語科学研究』vol. 2, pp.143-156.
- (3) 堀口純子(1997)『日本語教育と会話分析』くろしお出版
- (4) 蓮沼明子(2018)「自然談話における福祉の応答用例：「もちろん」「たしかに」「なるほど」を例に」『日本語日本文学』vol.28, pp.1-26.
- (5) 石井敏(1987)「対人関係と異文化コミュニケーション」石井敏・岡部朗一・久米昭元『異文化コミュニケーション』有斐閣, pp.122-140.
- (6) 小宮修太郎・平形裕紀子・長能宏子(2001)「日本人の話し方について留学生が持つ印象とその要因」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』vol.16, pp.47-82.
- (7) Leech, Geoffrey, N. (1983). *Principles of pragmatics*. London: Longman.
- (8) 劉麗芸・都恩珍・宋昌昌(2011)「外国人学習者が見た場面的意味における日本語の曖昧性について」『桜花学園大学人文学部 研究紀要』vol.13, pp.77-86.
- (9) メイナード・K・泉子(1993)『会話分析』くろしお出版
- (10) 森山卓郎(2015)「感動詞と応答詞」友定賢治編『感動詞の言語学』ひつじ書房, pp.53-81.
- (11) 村田晶子(2000)「学習者のあいづちの機能分析—「聞いている」という信号、感情・態度の表示、そしてturn-takingに至るまで」『世界の日本語教育』vol.10, pp.241-260.
- (12) 大野文(1997)「「たしかに」と「なるほど」」『日本語・日本文化研究』vol.7, pp.155-164.
- (13) 大塚容子(2005)「テレビインタビュー番組におけるあいづち的表現—ポライトネスの観点から—」『岐阜聖徳学園大学紀要 外国語学部編』vol.44, pp.55-69.

- (14) 塩田雄大 (2012) 「現代人の言語行動における“配慮表現”～言語行動に関する調査から～」『放送研究と調査』vol. 62(7), pp. 66-83.
- (15) 土屋菜穂子 (2012) 「OPI (Oral Proficiency Interview) に見られる利き手の応答表現「なるほど」について」『青山語文』vol. 42, pp. 54-68.
- (16) 山岡政紀・牧原功・小野正樹 (2010) 『コミュニケーションと配慮表現—日本語語用論入学—』明治書院
- (17) 山岡政紀 (2018) 「日本語配慮表現の分類と語彙リストについて」『日本語コミュニケーション研究論集』vol. 7, pp. 3-11.
- (18) 楊曉鐘・曹琚紅 (2005) 「「曖昧」な日本語を再認識：日本語教育の立場から」『福井大学教育地域科学部紀要 第I部 人文科学 (国語学・国文学・中国学編)』vol. 56, pp. 43-49.
- (19) 鄒敏 (2002) 「日本語教育に於けるあいづちに関する考察」『日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集 16 期巻』pp. 94-99.

<ABSTRAK>

Penelitian ini mengkaji tentang *aizuchi* yang didalamnya mencakup makna ambiguitas. Selain itu, penelitian ini juga membandingkan perbedaan interpretasi yang muncul antara orang Jepang dan orang asing pembelajar bahasa Jepang dalam penggunaan ungkapan "*naruhodo*". "*Naruhodo*" selain merupakan salah satu ungkapan dalam *aizuchi*, juga merupakan salah satu *sandou hyougen* (ungkapan persetujuan) dalam *hairyo hyougen*.

Secara garis besar, objek dalam penelitian ini adalah orang Jepang dan orang asing pembelajar bahasa Jepang. Tujuan dari penelitian ini adalah untuk mengetahui apakah ungkapan "*naruhodo*" menunjukkan makna "memahami isi pembicaraan yang disampaikan lawan bicara", dan juga menunjukkan makna "setuju atau sepakat dengan isi pembicaraan yang disampaikan lawan bicara" atau tidak.

Hasil penelitian ini menunjukkan bahwa ungkapan "*naruhodo*" bagi orang Jepang menunjukkan makna "memahami isi pembicaraan lawan bicara", tetapi tidak menunjukkan makna "setuju atau sepakat dengan isi pembicaraan lawan bicara". Di sisi lain, bagi orang asing, pembelajar bahasa Jepang "*naruhodo*" selain menunjukkan makna "memahami isi pembicaraan lawan bicara", juga memiliki makna "setuju atau sepakat dengan isi pembicaraan lawan bicara".

Kata Kunci : *Aizuchi*, interpretasi, ungkapan persetujuan

日本における海女の歴史と未来

—海女関係者へのインタビューと日本とタイの大学生への調査から—

カノクポンヴェロート・アッタポン

The History & Future of Japanese Ama

through interviews to Ama-related people and questionnaires to students

Attapong Kanokponverote

<要旨>

この研究レポートでは、まず海女の歴史と文化、そして海女文化がかかえる現在の問題について探索的な方法で調べ、その問題の実態を理解し解決方法を考えるために実施したインタビューとアンケートの結果を紹介する。現在においても、海女は日韓を中心に存在し続けているが、海女数は確実に減少し続けている。その減少をくい止める必要性は、主に以下の3つにまとめられる。海女は、1. 文化的遺産の価値があること、2. 持続可能な漁業であること、3. 観光的の利益があること、である。実際の海女や海女小屋を営む社長、「海女サミット」に関わる研究者へのインタビュー、そして海女に関係した授業も開講されている三重大学と「あまちゃん」が大ヒットしたタイの学生に対するアンケート調査結果から海女数の減少と未来について考察する。

キーワード：海女、日韓、観光、環境、ユネスコ無形文化財

1. はじめに

2011年（平成23年）3月11日に発生した東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）は押し寄せた津波により多くの人命を奪った。特に甚大な被害を被った東北地方を応援するため、NHKは2013年度上半期に岩手の「北三陸」を主な舞台に連続テレビ小説「あまちゃん」を制作した。2016年には、タイでも放送されて一躍人気となったのだが、それは「あまちゃん」におけるアイドルや海女など、タイにない文化が数多く登場したことが大きい。BNK48などのアイドルが生まれるほどの影響力であった。

筆者が最も感動した場面は、主人公の天野アキが海に入るのを怖がっているのを祖母の夏に海に押されて飛び込むシーンである。「怖いものから逃げられない時は挑戦するしかない。

それによって成長できるのだから。」という事を学ぶことができた。このシーンは、多くの視聴者に勇気を与えたと思う。

このような感動を覚えた一方で、ドラマを通して海女という文化に興味を持つようになった。昨今の漁業は最先端の技術を駆使して魚や貝を捕獲している一方で、海女は昔ながらの原始的な方法でアワビ等を収穫している。どうしてそのような旧式で効率の悪い旧式な捕獲方法を守っている海女という職業が現代まで継続して受け継がれているのだろうか。そのような疑問を持ったことから、海女の歴史や文化について、書物や資料から探索的に調べることにした。

2. 海女の定義と歴史

谷川（1990, p1）によると、日本の海女は「潜水してアワビ・サザエなどの貝類やワカメ・テングサなどの海藻類を捕採し、あるいは角類を刺突する。そのような稼業を年間の漁業暦にもつ漁撈民を指す」とのことである。男性の場合は「海士」、男女の区別がない呼び方は「海人」と言うが、どれも「あま」と読む。

鳥羽・志摩地方をはじめとして、千葉県の上房総、静岡県伊豆などが、海女漁の盛んな地域として知られている。世界的にみると、海士は中国南部やマレー、太平洋地域などに多く存在しているが、海女は日本と韓国の済州島以外、ほとんどみられない。全世界の中で海女の存在が確認できるのは日本の 18 県と韓国の済州島と本土一部に限られている（海の博物館, 2013）。

2. 1. 日本の海女の歴史

日本列島には縄文時代の中ごろ遺跡から海女が存在していた痕跡が見られ、3 千年前と推測される鳥羽市浦山の白浜遺跡からは大量のアワビやサザエ殻、伊勢湾口近辺では鹿角製アワビオコシ（アワビを効率よくとるための道具）が出土されている。その時代に女性が潜水漁を行っていたことが推測できる（鳥羽市, 2019）また、この地方では伊勢神宮と海女との関係が古くから存在する。伊勢へ天照大神（あまてらすおおみかみ）をお祀りした倭姫命（やまとひめのみこと）が、神さまの食べものを探して鳥羽市の国崎へ来たところオベンという海女に出会い、以後、国崎から神宮へアワビを奉納することになったという言い伝えがある。その伝統は今も受け継がれているということである（海の博物館, 2013）。

7 世紀後半から 8 世紀後半にかけて編纂された、日本最古の歌集である『万葉集』には

大伴家持や山上憶良による、海女漁の様子を詠んだ歌があり、海女がかつて存在したことを示している。文献にあらわれる最も古い記録は 927 年に完成した『延喜式』であるとされ、「志摩の国の海産物をお供えする“潜女”は 30 人である。その潜女には衣服の代金として伊勢の国の税から稲束を与える」と記されている（海の博物館, 2013）。

2. 2. 韓国の海女の歴史

韓国の海女は「ヘニョ」を呼ばれており、海岸沿いに位置する先史時代の穴居地と岩窟住居で発掘された各級の石器や土器、動物の骨や貝類は、旧石器時代から漁撈が先住民の生活式として存在したことを示している。アワビの殻を利用した矢じり、またはシカの角を加工した柄模様の道具は、アワビ採取用のピッチャン（アワビオコシ）と類似しており、古代から多くの地域で行われてきたものと推定できる（アン・ミジョン, 2017）。

昔、済州島の海女は朝鮮半島の沿岸はもちろん、沿海州や対馬、日本海沿岸にも進出しており、その技術は日本の海女と変わるところがなかったと言われる。海女は東アジアを中心に発展した文化であることがわかる（海の博物館, 2013）。

伊田（2009）によると、済州島における海女の歴史は非常に古く、10 世紀の記録では日本との魚介類の取引を示す記述もあるとのこと。昔は男性も潜っていたが、女性の方が寒さに耐えられる適性があると考えられ次第に女性の職業となったという。この意味で、済州の経済は海女が支えてきたといっても過言ではないとのことである。

3. 海女の衣装と変化

鳥羽の南に位置する海女と漁師のまち相差（おうさつ）のサイトによると、大正時代までは上半身半裸で仕事をしていましたが、それ以降は磯着と呼ばれる白木綿の衣装を着ているようになったそうである。だが、冷たい温度のため、海中でも長時間耐えられるウェットスーツが開発され、その着用が一般的になった。

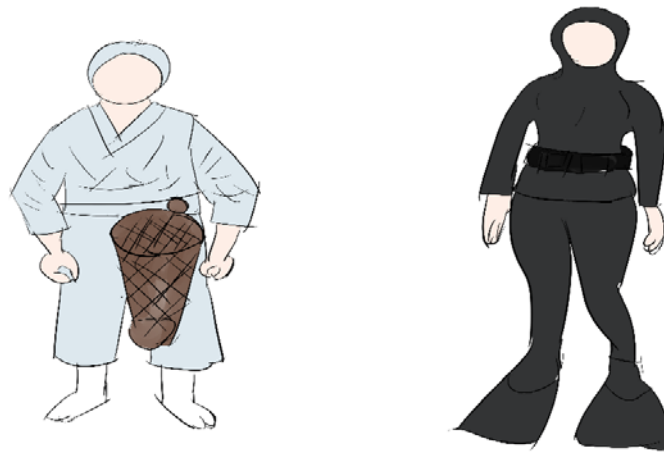


図1 日本の海女の衣装

韓国海女の衣装

韓国では、海女の衣装はモスリン(mousseline)と呼ばれる薄地の織物で作られていたが、日本から輸入したブロードコットン (broad cotton) で新しく衣装を作るようになった。なぜなら、ブロードコットンはモスリンより塩分の高い水中に対して耐久性があるからである。伝統的な衣装は「ソジュンエイ」(Bathing suit)、「ジャック・サム」(upper)、「ムルス・グン」(hood) である。冬の際、ヘニョはソジュンエイの上にジャック・サムを着る (Joo-Young Lee and Hyo Hyun Lee, 2014)。

1970年、日本に出稼ぎに来ていたヘニョは日本で得たウェットスーツと足ヒレを済州島に持ち帰った。その影響により、ヘニョの潜水方法は変化し、潜水時間も増えたと記録されている。かつて、以前、冬には1時間ほどしか潜水できなかったが、ウェットスーツを着ると1時間以上潜水できるようになったという (Joo-Young Lee and Hyo Hyun Lee, 2014)

衣装の変化からもわかるとおり、日韓の海女の間では古くから出漁や出稼ぎによる交流があり、1879年に日本海女による朝鮮半島沿岸への出漁、1895年以降、済州島海女も日本や中国・ロシア沿岸へ出稼ぎに出ているとの記録がある (菅原、2012)。次に、日韓の海女における主な共通点を比較してみたいと思う。

4. 日韓の海女における共通点

4. 1. 操業時間における制限

近年大きな課題になっている持続可能な開発目標(SDGs)の視点からも、資源枯渇を防ぐために決められた操業日数や時間のルールを守る海女の意識は、この時代に重要な意味を持

つと考えられている (OPRF, 2011)。

日本の海女における年間の操業日数は、三重県漁業調整規則により 9 月 15 日から 12 月 31 日まで採取禁止である。採取は午前と午後の 2 回で、操業時間は一般的に 1 回あたり 60 分である (海の博物館、2013)。

韓国も漁に時間制限があり、3~8 月の間は 1 か月に 28 日潜水する。冬は月に 15 日潜水し、潜水する時間は 30 分である。春には 40 分から 1 時間ほどの潜水と決められている。(Lee & Lee、2014)。

両国共に、海女は資源管理型漁業の典型であり、魚介類を採り過ぎない採集生活を古い時代から脈々と受け継いでいると考えられている。短時間だけ潜り、それぞれの縄張りを決め、食べ頃な大きさのものだけを採るというルールが定められているのである。

4. 2. 文化における共通点：信仰

日韓の海女には長年守られている信仰や神事があり、その信仰の対象はそれぞれの国の文化を反映していると考えられる。

4. 2. 1. 日本の海女の信仰

海女は漁の前や一年を通じての節目に、身体を清めて神前で祈願をし、呪文をとなえるなど、さまざまな風習を守っている。それらの信仰はすべて自身の身を守り、豊漁と安全を祈願するためであり、鳥羽、志摩地域には海女の信仰を集める神社や仏閣が多い。(海の博物館、2013)。例えば、その年の最初の漁のことは「口開け」と呼ばれ、春になり、漁が始まる前に「磯まつり」「浜まつり」として、海に向けて祭壇を組み、お供え物をして経を唱える。また、その年の漁が終わった秋にも感謝のお祈りをする。また、漁のはじめには海水をなめてから「ツイツイ」「チュッチュツ」「ツヤツヤ」などと呪文を唱え、神棚に供えてあった白米を海にまいて青峰山や竜宮山にお祈りしてから海に入る (海の博物館、2013)。

ゴサイは「五斎」、「御祭」などと書き、海女の日待ち (休魚日) などとも言われている。夏の土用のころ (旧暦 6 月 25、26 日)、海女は漁を休んで伊勢神社の別宮である伊雑宮 (いざわみや) や、鳥羽市の青峰山上である正福寺にお参りをする。その日に漁に出ると、魔物やサメに襲われると言われ、海へ出るのは禁忌である (海の博物館、2013)。

また、危険や怪奇現象から身を守るおまじないとして、磯手ぬぐいや襦袢などに、星形の印（セーマン）と格子状の印（ドーマン）が刺繍されている。星形は一筆書きで元の位置に戻り、はじめも終わるもないことから魔物の入り込む余地がなく、各子は多くの目で魔物を見張り、出入口が分からず悪魔が入りにくいともいわれている。陰陽道と関係するとも言われ、セーマンは安倍晴明、ドーマンは芦屋道満の名に由来するとも言われている（海の博物館 編, 2013）。

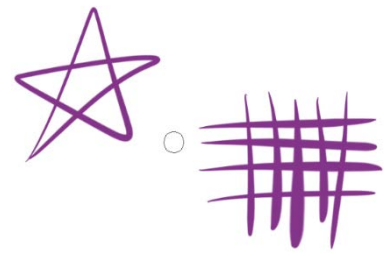


図2 セーマンとドーマン

4. 2. 2. 韓国の海女の信仰

韓国のヘニョ（海女）にも海への信仰がある。例えば、「ヨワン（竜王）門が開く」という儀式では、ヘニョたちは皆で「共同ムルジル」（共同潜水すること）を行い、「竜神を訪ね、種を受けてこの日に撒き、豊作を祈願」する。ここでは、祖先は海という自然に投影された神であり、ヘニョとは働く場所を媒介とした神話的な関係にある。祖先は、ヘニョや漁業を生業とする人々と密接な関係があり、彼らに最大の影響力を行使する中心的な位置にある存在であると考えられている（アン, 2017）。日本の海女が神を信仰し、魔物から身を守る慣習を残している一方、韓国の海女にとっては、豊漁を約束する海さえが先祖そのものであり、信仰の対象になっていることがわかる。

4. 3. 海女数における減少

日韓の海女における共通した問題は、年々海女数が減少していることである（表 1）。80年代のデータが日韓ともに欠けているのだが、両国ともその減少は70年代に顕著であったことが読み取れる。日本では、鳥羽市の「海の博物館」が1972年以降、不定期で県内の海女の人数を調査しており、1972年には三重県で4,124人いたとの記録がある。だが、2010年に全国規模で海女の人数を調査したところ、全国でも計2,160人に減少しており、三重県は全体の約45%で973人となっていた。その後減少は止まらず、2015年では三重県内で660人に減少したとのことである。

日本よりも多い海女が存在する韓国でも70年代に急激な減少が起り、80年代以降もゆるやかではあるが減少傾向にある。

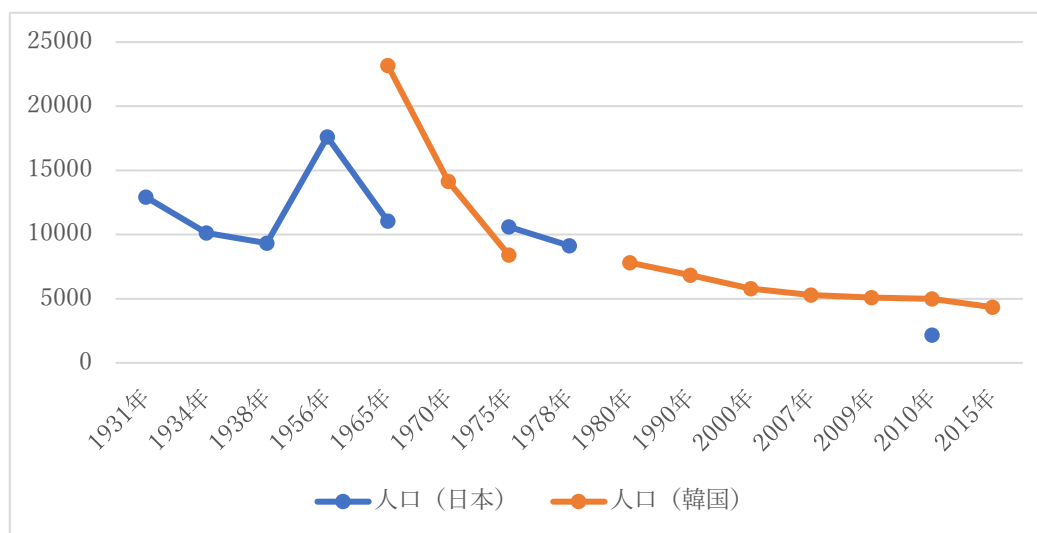


表1 海女人口の変化

海女数が減少している原因は主に2つあると考えられる。第一に、若い世代が海女になることに対して興味を持っていないことである。かつて、海女の町として有名であった千葉県御宿は女性に生まれると海女になるのが自然であった。だが、現在、若い女性には仕事における選択肢が増えていることから、海女を希望する若者は減っている（大崎, 2013）。実際、「海の博物館」による2018年度の調査によると、海女が所属する鳥羽、志摩両市における海女の平均年齢は65.7歳で、その平均年齢は年々高くなっている。

第二の理由として、アワビやサザエなど漁獲量における減少があげられ、それに伴い海女の収入が減っているとの報告がある（産経新聞, 2018）。アワビ漁獲量が減少している原因は複数の研究機関で研究されており、や海洋汚染など様々な要因があげられている。だが、主な要因としては、地球環境の温暖化による海水温の上昇が考えられており、比較的冷たい温度を好むアワビにとっては将来も厳しい状況が続くと思われる。このような状況でも、アワビ種苗の放流は資源の底上げには有効と考えられ、また、放流効果を高める取り組みを行うこともますます重要になるとのことである（海女漁業支援研究開発コンソーシアム, 2016）。

5. 海女数の減少

5. 1. 減少を止めるべき理由

前述したように、日韓における海女の人数は減少し続けており、危機的状況にあることがわかっている。だが、両国において海女という文化は存続すべきだと考えられており、特に日本国内における理由として主に3つあげられるだろう。第一は、海女の文化的遺産としての価値である。鳥羽市の『海女文化を活かした活性化構想計画』（2018）によると、同市の

海女は非常に古い歴史を持ち、伊勢神宮をはじめとした信仰と密接にかかわるなど、文化的価値が高い。

第二の理由として、前述したように持続可能な漁業としての価値があることがあげられる。鳥羽市市長の中村欣一郎氏が言及するように、海女漁における自然資源を保全しながら継続されてきた持続可能な漁業のあり方は、国連が推進する SDGs の潮流にも合う。ユネスコの文化遺産といった話は後からついてきたもので、海の環境を守りながら漁業を守っていくのが当たり前の地域なのである（毎日新聞, 2018）

第三の理由は、観光面での利益があげられる。両国ともに「海女小屋」があり、観光資源として海女は国内からだけでなく、外国からの観光客を惹き付ける。海女と一緒に写真を撮り、魚介類の料理を SNS に載せてもらうことでその地域を無料で宣伝することもできる。鳥羽市相差町にある「海女小屋はちまんかまど」の野村 一弘社長によると、利用人数は日本人・外国人客にかかわらず増加傾向にあるが、2016年に開催された伊勢志摩サミットの開催が決定された頃から外国人客の増加が顕著になった（表 2 参照）。2013年での日本人客の急増は伊勢神宮の遷宮によるものと考えられ、近辺で開催された大きなイベントは利用人数を大きく増加させていることがわかった。

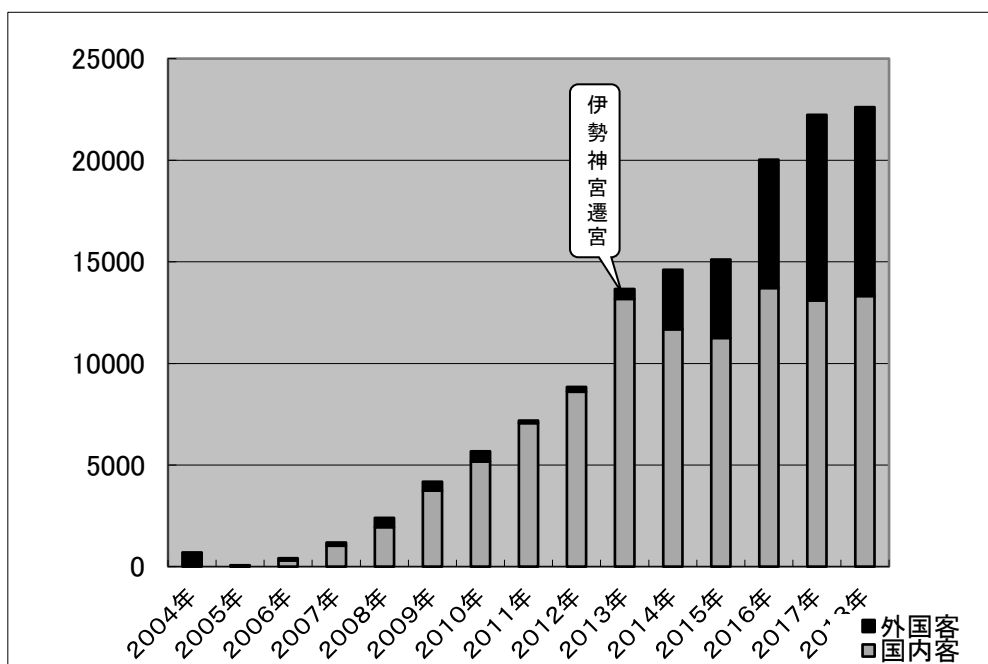


表 2 はちまんかまど（海女小屋）：利用人数の推移

5. 2. 減少を止める対策

海女の減少を止めるために、日韓両国において主に2つの対策がとられている。第一は、海女の広報・宣伝である。例えば、海女をイメージした「ゆるキャラ」を用いて海女の広報と観光PR活動が行われている。日本の志摩市で使用されている海女のゆるキャラの名前は「しまこさん」で、韓国済州島は「チェジュちゃん」である。最近、カカオ本社とのコラボレーションで、「海女アピーチ」というかわいいキャラクターも登場した。それぞれが海女の存在をアピールし、観光客の集客に役立っていると考えられる。しかしながら、海女の人数減少にどれほどの貢献をしているかは不明である。

第二は、日韓両国の海女とその地域、研究者らが交流を通して実現させた「海女サミット」である。海女サミットは海女文化振興と国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産登録等に向けての連携を目的に2009年に鳥羽市で初開催された。2015年11月、鈴木英敬三重県知事は、「日韓が連携して登録を目指したい」と発言した（Record China, 2016）。

しかしながら、2016年に韓国政府が単独で押しすすめた済州海女文化だけがユネスコ無形文化遺産として登録された。登録の理由として、済州海女文化は、1) 男性中心の儒教文化が深く根付いている韓国では珍しく女性が経済活動の主体として活躍していること、2) 女性の地位向上に大きく貢献したこと、3) 自然と共存する環境にやさしい漁業であること、そして4) 共同体を通じて文化が伝承される点などがあげられている（久慈市, 2016）。

6. インタビューによる調査

ここまでは、海女文化が古くから発展してきた日本と韓国における海女の歴史と文化、そして2016年の済州海女文化のユネスコ無形文化遺産まで書物や公的な機関が運営しているインターネットサイトを主に調べた結果を報告した。しかしながら、実際に海女という職業にかかわっている人々の声を聞き、海女人数の減少や韓国のユネスコ無形文化遺産登録についてどのように感じているのか、等を調べるためにインタビューすることにした。

6. 1. 海女さんへのインタビュー

多くの観光客が訪れる鳥羽の海女小屋「はちまんかまど」の海女である野村 禮子（のむら・れいこ）さん（87歳）にインタビューした。彼女によると、鳥羽に生まれた人々は女性であれば家柄の関係に関わらず、子供の頃から潜水を練習して大人になると全員海女になるという伝統があった。潜水の仕方、アワビの場所、海から上がるべきタイミング等、自分で体験して学んだ。年齢は海女になることに関係なく、禮子さんの場合、14歳の時には夏休みに毎朝潜っていたとのこと（あまちゃんのように）。

病気以外の理由で辞めた人はいないらしく、給料は副業収入を含めて充分であるとのことである。だが、地球温暖化の影響もあり台風が以前より早く来るようになったこともあり、潜水の時間も以前より少なくなったそうである。

獲ったものは漁業協同組合に売るとのこと。なぜなら、アワビの稚貝を組合が仕入れているからである(農業でいえば漁協が種を撒いているから、獲ったものは漁協に納める)。

現在の海女が辞めないことが海女の存続には重要であり、海女の広報も十分だと思っている。有名人などが海女になって CM 出演し、県や電車会社など、海女を広報してくれているからだそうだ。だが、その一方で、若い人たちは海女にあまり興味を持っていないと思っている。禮子さんは、日本政府が海女をユネスコ無形文化遺産に登録されるようによく頑張ったと思っている。韓国のほうが先に登録された事に関して責任を感じているとのこと。だが、無形文化遺産として登録されても、本当に海女さんをやっていきたい人がいない限りは海女人数の減少を解決できないと感じているとのこと。

6. 2. 海女小屋の社長へのインタビュー

次に、実際に海女の広報やビジネスに関わる方からの話が聞きたく、禮子さんの息子である「海女小屋はちまんかまど」の野村 一弘社長 (58 歳) へのインタビューを実施した。野村社長によると、昔は海女の村に生まれたから海女になるのは大人になることと同じであったが、現在、海女を継承する具体的な道はない。禮子さんが話していたように、「海女が現在でも存在し続けているのは、海女になることが当たり前だった時代の人が引退せず頑張ってきたからである」とのこと。海女に年齢は関係なく、ウエットスーツの普及もあって健康であれば 80 歳でも潜れるらしい。

給料に関しては、以前は浜値も高く、量も捕れたので十分だったが、今は浜値も安くなり十分とはいえないとのこと。もともと 1 年のうち 60 日~100 日しか漁がないので昔は近海漁業 (夫の漁師の手伝い、近海魚・伊勢えび・車エビ) の補助作業をしたり、農業をしたりしていた。最近では兼業でいろいろな職種を営んでいる。例えば、民宿・旅館、スナック・バー、ガソリンスタンド、雑貨店、カフェ、食堂、建設業などである。

韓国が先に海女を無形文化遺産に登録されたことに関しては、「韓国らしいと思った。信用できない国だと感じた」そうである。だが、一方で、「たとえ日本の海女がユネスコに登録されても海女の減少状況を解決することはできないと思う」とのこと、禮子さんと同じ考えのようである。野村社長は、海女の広報の仕方は不十分だと思い、海女小屋体験を始めた。海女と話し、獲ったものをいただく。海女と触れ合うことで「海女の生命力やエネルギー」を感じるような海女小屋体験を経験してもらうことが重要とのことである。

海女は今や単なる漁業者ではなく、ビジネスに付加価値を付けて他の産業とコラボレーションすることにより、海女の収入を増大できる要素を秘めているとのこと。そのことに気づいた若手海女がカフェや食堂を始めた。海女であることを強みに新ビジネスを始めたのである。これがこれからの海女の姿であり、存続していく重要な要素である。野村社長は海女が漁業者としての技術、事業者になる知識の両方を得ることで、海女が女性の職業として高収入を得ることができる職業になる転機と考えている。その存続を応援するため、「海女を育成する学校」を作りたいとの展望と夢を熱く語られた。

そして、野村社長は外国人観光客の存在を重視しているとのこと。「外国人に海女になってもらうというより、海外から伝統的な海女文化を失くさないよう日本へメッセージを送ってほしい。海女は2千年の歴史があり、神の食事とも深いつながりがある。ひとつの職業というだけでなく日本のルーツにつながる大切な人たちです。海女はエネルギーのシンボルであり、自立した女性像でもあり、豊かな海の代名詞です。日本という国が続く限り神仏の僧侶・神職が必要であり、海女も神の食事を獲るものとして失くすわけにはいきません。三重県が食べ物の豊富なイメージがあるのも海女の存在があるからです。」

実際の海女や海女小屋経営者からのインタビューを通して、日本の海女は神職にも関係している大事な文化であるのだが、このままでは存続が非常に難しいと考えられていることがわかった。加えて、二人ともユネスコ無形文化財登録が海女人数の減少を食い止めるという楽観的な期待もしていないようである。

6. 3. 海女のユネスコ無形文化財登録について（吉松隆夫教授へのインタビュー）

次に、済州海女文化のユネスコ登録について研究者からの観点からの意見を得るため、海女文化にも造詣が深い本学生物資源学部の吉松隆夫教授（専門：浅海増殖学）にインタビューを実施した。吉松教授は国際交流担当の副理事でもある。教授によると、当初、日本と韓国は「共に一つの文化遺産」としてユネスコ登録を目指していたのだが、韓国政府が先に国内の重要遺産を登録し、それを勝手に提出してしまった経緯があったとのこと。その結果と韓国政府に対して、日韓の海女や研究者らは共に悲嘆し怒りを感じたそうである。同じ文化を登録することはできず、日本の海女は、無形文化財としてユネスコに登録される可能性を失ったようだ。現在、日本の海女関係者が目指しているのは、FAO（Food and Agriculture Organization of the United Nations）の世界農業遺産の登録であるとのこと。吉松教授は、「韓国の海女は本物とか、日本の海女は偽物という議論は間違っており、両方の海女は本物である。韓国政府には皆腹を立てているが、日韓の海女も研究者は今でも仲がいい。毎年『海女サミット』を開催して交流することで海女の文化を継続させていきたい」と語られた。

6. 4. 三重大学生とタイ人学生へのインタビュー

日本の海女関係者へインタビューできたことで、海女という文化の価値や環境的な面での重要性と課題、日韓の海女関係者が現在でも交流を続けて海女文化を守ろうとしている現状について理解をすることができた。そこで、次に、「あまちゃん」が放映された日本とタイの学生を対象に、海女という職業について知っているのか、そして、海女という文化の存続を願っているか、等について調べてみることにした。

日本人の参加者は、三重大学の学生 36 名（女性 23 人/男性 13 人）で平均年齢は 19 歳であった。タイからの参加者はコーンケン大学 41 名（41 人女性/18 男性 23 人）で平均年齢は 28 歳であった。以下は、アンケートの主な問と結果をまとめたものである。

Q 1. 「海女」という職業を知っていますか？

結果：日本人参加者の 97.2%、タイ人参加者の 46.3%が「知っている」と返答。予想どおり、日本人のほぼ全員が知っており、「知らない」と答えた参加者は 1 名だけであった。

Q 2. どのように海女を知りましたか？

結果：日本人参加者は三重県出身者が多いことから、「子どものころから知っている」と答えた学生も数人いたが、大半が朝ドラの「あまちゃん」から知ったと答えたのは意外であった。タイの参加者で「知っている」と答えた人は、ほぼ全員が「あまちゃん」から知ったとの回答であった。

Q 3. 現在、日本には何人の海女が存在していると思いますか？（日本人の学生へ）

結果：平均したところ、1,746 人であり、最少の答が 200 人、最大で 10,000 人であった。2019 年現在、鳥羽の海女の総計は 660 人で全国の海女人数の総計は 1,200 名を下回っていると推測されるので、実際の人数よりも多いと思っていることになる。

Q 4. 現在、海女の人口が減り続けており、将来は海女という文化（職業）がなくなる可能性があります。あなたは、海女という文化が将来も日本に存在し続けてほしいと思いますか？
下記の答からあなたの考えに最も合うものを選んでください。

5 = 存在し続けてほしいと強く思う 4 = 存在し続けてほしい

3 = どちらでもよい（関心がない） 2 = 存在し続けなくても良いと思う

1 = 存在し続けてほしいと全く思わない

結果：図7の円形グラフからわかるとおり、度合いにかかわらず海女が「存在し続けてほしい」と考える日本人参加者は80.5%、タイ人参加者は63.4%となり、海女の文化が根付く日本の参加者の方がその継続を願う人数が多かった。その一方で、その存続を「強く思う」と答えたのは、タイ人が14.6%と日本人の8.3%を超えていた。タイで「あまちゃん」が大ヒットしたことから、その影響があると思われる。海女の存続を願わない、特に関心がない、と答えた割合は、日本人で19.5%、タイ人で36.6%であった。

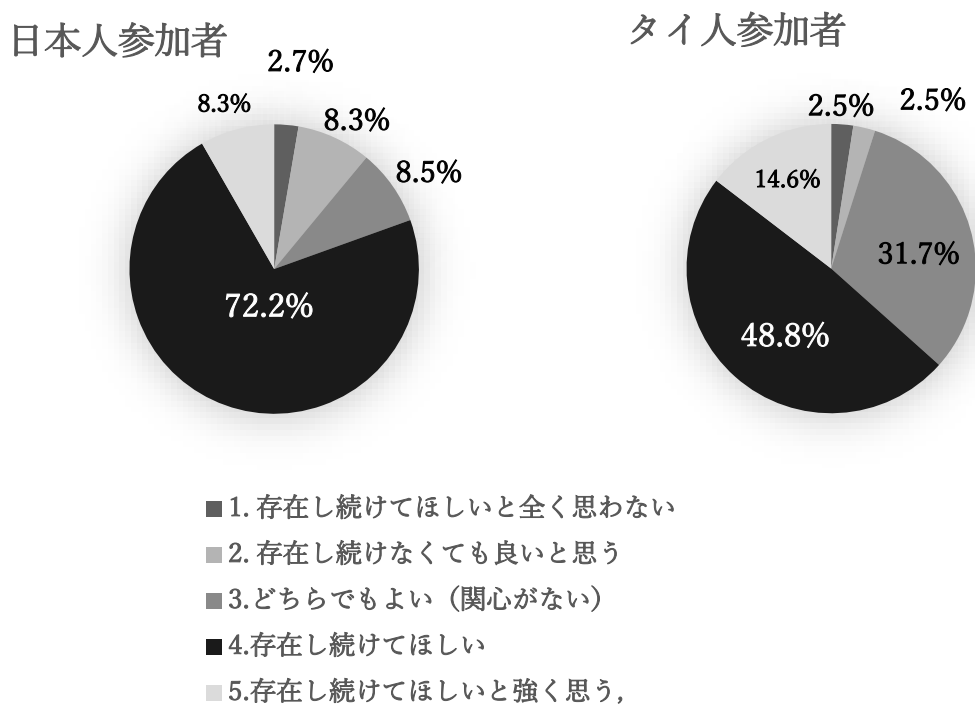


表3. 「海女という文化が将来も日本に存在し続けてほしいと思いますか？」

海女の存続を願う理由として、日本人参加者からは「地方の観光資源だから」、「日本における伝統的文化だから」、「海女は日本（三重）が誇る貴重な無形文化だから」、「海女の授業を受けて、海女の素晴らしさを感じるから」、「海女文化は自然と良い関係を保っているのにそれをなくすのはもったいないから」、「海女さんの漁業のやり方はすごいし、独自のものだと思うから」、「伝統的な文化であり、女性が漁を行うというのをこれからも残して欲しいから」などの理由があげられた。

反対に、海女の存在に関して否定的、もしくは関心がない日本人参加者の意見として、「新しい者がどんどん出て来る現代で、古い文化を継続することは不可能だと思うからです。また、古い文化を受け継ぐことでどのようなメリットがあるのかがわからないから」、

「自分の身近に関わっているものではないから」、「技術が発達しているので、安全かつ早くとれる方法を使えばいいと思う」、等の理由が出されていた。

Q 5. 現在の海女に対する広告や宣伝は十分だと思いますか？

結果：この問いについての回答は、日本とタイ参加者と極めて類似していた。約 73%の参加者が「十分だと思わない」と答え、約 17%が「全く十分だと思わない」と答えた。

Q 6. 海女の人口が減少することをくい止めるため、何が必要だと思いますか？

(どのような方策が必要だと思いますか？)

日本人参加者（三重大生）の意見：

「他の観光地に来た人に、本物の海女の魅力、歴史を伝えることで、漁村にまず来てもらい、実際に体験してもらうこと」、「若い者の育成。全国から人を集めること」、「海女の知名度やイメージアップ。海女漁が行われている地域での会社で副業に対して寛容になってもらう」、「海女さんのバイトを設定することで、海女の魅力を知ってもらって就職したいと思わせるのが効果的だと思う」、「海女のすごさを PR する。三重大だけじゃなくて、全国でも海女学のような授業を開く」などの意見が多く上げられた。

タイ人参加者（コーンケン大学）の意見：

「給料を上げれば、もっと興味を持つ人が増えると思う」、「海女のメディアを宣伝すること。例えば、海女ドラマシリーズ」、「新しい技術を使うこと、最近の若者はリスクがあまり好きじゃないから」、「海女の職業を体験できるイベントの実施」などがあげられた。

7. まとめと考察

本研究は、著者がタイでヒットした NHK 制作のドラマ「あまちゃん」を通して海女という文化に興味を持ったことから、海女について特に研究テーマを設定せず探索的に書物や資料から調べてみることからはじめた。その結果、日本と韓国における海女の歴史はおそらく数千年を経て受け継がれていること、文献では約 6 世紀頃から海女について記録がされていることがわかった。驚いたことは、日韓の海女は古くから交流があり、それは衣装にもあらわれていることであった。海に対する信仰の仕方については日韓で差があるものの、その信仰の文化は今でもそれぞれの土地で受け継がれている。そして、現在最もその価値として注目されているのは環境保護の視点である。日韓両国の海女において、収穫の作業時間や時期は制限されており、海の資源を枯渇させることのないよう規則が堅く守られてきた。

一番の問題は、海女の人数は日韓ともに減少し続けていることであるが、その減少を止めることは困難であることがわかった。減少の理由は複合的であり、温暖化を含めた自然環境の変化にともなう漁獲量の減少や、社会経済や技術革新の結果、海女という職業を選択する若い女性が減ったこと等である。しかし、前述したような海女が持つ貴重な価値に加えて、観光の付加価値を与える海女という文化は存続させなければならない。日韓それぞれ国をあげて広報や宣伝に力を入れ、「ゆるキャラ」の登場も含めてその活動内容は共通点が多い。

日韓の海女関係者は 2009 年から海女文化の保存と振興、そしてユネスコ無形文化遺産の登録に向けについて話し合う「海女サミット」を開設したが、韓国は先に提出してしまい、2016 年に済州海女文化だけで登録されることとなった。

7. 1. ユネスコ無形文化遺産登録について

インタビューでは、海女関係者（実際の海女さんと海女小屋の経営者）と海女サミットにもかかわってきた研究者に海女人数の減少における課題や韓国のユネスコ無形文化遺産登録に対する思い等について聞くことができた。意外だったのは、海女の禮子さんが「登録されなくて申し訳ない」と感じていることであり、立場により複雑な感情があるのだと感じた。吉松教授が言うように、関係者の失望と怒りの標的は韓国政府であり、海女や研究者同士の交流は 2016 年の登録以降も変わりなく続けられている。2018 年の「海女サミット」は 11 月 4 日に石川県輪島市で開催され、全国 8 府県と韓国の海女らが一同に集ったそうである。今年海女研究の中心となる場である鳥羽市「海の博物館」で 11 月に開催されるとのこと。海女研究に尽力した「海の博物館」館長の石原義剛氏が昨年亡くなられたこともあり、石原元館長の業績と想いを受け継ぐサミット開催になるだろう。

7. 2. 海女に対する若者の関心と広報・宣伝について

実際に職業として海女を選ぶ若者は少ないのが現状であるが、海女の禮子さんが感じているほど若者らは「海女に関心がない」ことはないことがわかった。日本人参加者の 8 割が海女文化の存続を希望しており、強く希望している学生らの多くは大学で海女についての講義を履修していたことがわかった。自国に海女文化がないタイの参加者でも 6 割以上が存続を望んでおり、「あまちゃん」の影響力の大きさがうかがえた。

海女人数の減少を止めるための広報や宣伝だが、海女の禮子さんは「十分であると思う」と話していたが、日本とタイの学生へのアンケート調査では、90%が「足りない、または全く足りない」と答えていた。タイ人である筆者自身も、海女広報は不十分だと感じており、若者が日常的に利用する SNS で宣伝することは極めて有効であると思う。例えば、海女小

屋体験キャンペーン。ツイッターでリツイートしたら抽選で無料体験できるキャンペーンやインスタグラム上で海女の写真コンテストを行うのも良いだろう。投稿するときに#海女 #AMA などのハッシュタグをつければ、多くの人に海女についての写真や生活などを宣伝することができるかもしれない。現在、三重県ではインスタグラム上で#visitmie キャンペーンを実施しているので、コラボレーションすることもできる。

さらに、若者に人気のタレントや女優、声優などが海女に扮して体験したり、ドラマや映画に登場することがあれば若者の興味を引き付けられるのではと思う。日韓共同で海女の生活を描いたドラマや映画を製作することができないだろうか。「あまちゃん」の影響力は国内だけでなくタイのような海外でも大きく、海女に惹かれる観光客が確実に増えた。韓国のタレントは日本だけでなく他国の女性にも人気があることから、ドラマが成功したら海女という職業に興味を持つ若い女性が世界的に増えるかもしれない。それだけでなく、最近悪化する一方の日韓関係を少しでも改善するきっかけになる可能性がある。「海女サミット」に集う海女や関係者の民間交流もあわせて、「海女」という文化は日韓関係を改善に向かわせる一つの大事な鍵でもあると言える。

とすれば、海女人数の減少をくい止めるのはその意味でも大変重要である。だが、実際に海女を職業として選択する若者はこのままでは増えることはないだろう。アンケートの参加者や海女小屋の野村社長が考えるように、海女を育成する学校の開設や給料面での安定を保障するシステムが必要かもしれない。今後も「海女サミット」を中心に海女文化が継承されていくことを望んでいる。日韓の海女と関係者が交流し続けることで、海女は100年後も存在することができるのではないだろうか。

<謝辞>

このレポートを書くにあたり、インタビューにご協力いただいた野村禮子様をはじめ海女の皆様と「海女小屋はちまんかまど」の野村一弘社長、そして本学の吉松隆夫教授・塚本明教授に大変お世話になりました。心よりお礼を申し上げます。

<参考文献>

- 朝日新聞（2016）「全国“ゆるくない”キャラ図鑑「しまこさん」 サミット控える海女ドル」2019年6月26日閲覧 <<https://dot.asahi.com/wa/2016041500102.html?page=1>>
- 石原義剛（2017）「海女さんは、すごい！」『OPRI 海洋政策研究所のページ』2019年6月10日閲覧 <https://www.spf.org/opri/newsletter/415_3.html>

石原 義剛 (2011) 『～海女文化の無形世界遺産登録を目指して～』 2019年7月20日閲覧
<https://www.spf.org/_opri_media/projects/information/forum/backnumber/pdf/77_01.pdf>

アン・ミジョン (2017) 『済州島海女の民族誌』、出版社、アルファベータブックス

海女漁業支援研究開発コンソーシアム (2016) 「海女漁業のための新技術導入マニュアル」
『三重県の研究成果を活用したマニュアルのホームページ』 2019年6月10日閲覧
<http://www.pref.mie.lg.jp/suigi/hp/16041017264_00001.htm>

伊田 久美子、(2009) 「国際人権ひろば No.88(2009年11月発行号)」 『ヒューライツ大阪
のページ』 2019年6月12日閲覧
<<https://www.hurights.or.jp/archives/newsletter/section3/2009/11/post-83.html>>

海の博物館 (2013) 『目で見える鳥羽・志摩の海女』 海女振興協議会社.

大崎 映晋 (2013) 『海女(あま)のいる風景』 自由国民社.

久慈市 (2016) 『海女サミットが 教えてくれたこと』 2019年6月21日閲覧
<<https://www.city.kuji.iwate.jp/data/open/cnt/3/5722/6/tushin3.pdf>>

済州観光公社 (2016) 「済州島の海女さん(+お祭り)」 『済州観光公社のブログ』 2019年5月
30日閲覧 <<http://jejutour-jp.hatenablog.com/entry/2016/09/22/132000>>

済州特別自治道 (2016) 「その多かった済州の海女どこへ 2万3千人→4千300人急減」
<<https://m.yna.co.kr/view/AKR20161130188300056?fbclid=IwAR1HpIOO6692aiS61dErOxdu0Q8svlEuAQFfUX5mhbdobqymAK2BQvuDYA0>> 2019年6月14日閲覧

産経新聞(2018, 4月10日) 「海女文化ピンチー最多の三重県 660人 26年から101人減、
低収入で歯止めかからず 海の博物館調査」 2019年6月21日閲覧
<https://www.sankei.com/west/news/180410/wst1804100052-n1.html>

谷川健一 (1990) 「海女と海士 (日本民俗文化資料集成)」、出版社、三一書房社.

鳥羽海の博物館 (2018) 「海女操業人数の変化」 『鳥羽市立海の博物館のページ』 2019年6月
21日閲覧 <http://www.umihaku.com/tenji/jyouseu/images/ama_women2017.pdf>

毎日新聞(2018, 9月21日) 「石原義剛さん死去海の博物館館長を悼む 伊勢で葬儀、参列
200人超す」 毎日新聞デジタル版. 2019年8月20日閲覧
<<https://mainichi.jp/articles/20180921/ddl/k24/040/176000c>>

三重県鳥羽市 (2018) 「海女文化を活かした活性化構想計画」 2019年6月20日閲覧
<<https://www.city.toba.mie.jp/shakai/documents/amakousoukeikakuhp.pdf>>

제주특별자치도_해녀정보 (済州特別自治道海女情報) (2019) 「海女人口現況」 <
<https://www.data.go.kr/dataset/3084236/fileData.do>> 2019年6月14日閲覧

เรื่องย่อ

อามะนั้นเป็นอาชีพและวัฒนธรรมที่มีมาตั้งแต่โบราณ โดยการใช้วิธีจับอาหารทะเลแบบดั้งเดิมไม่ใช่เครื่องมือช่วยในการเก็บหอยเป๋าฮื้อและอื่น ๆ โดยจะเห็นได้ว่าอามะนั้นจะอาศัยอยู่แถบเอเชียตะวันออกเฉียง

นอกจากนี้อามะของญี่ปุ่นและเกาหลีนั้นมีการร่วมมือแลกเปลี่ยนวัฒนธรรมกันมาตั้งแต่สมัยก่อน โดยมีจุดร่วมหลักๆอยู่ 3 ข้อคือ

เวลาการออกทำงาน/วัฒนธรรมและปัญหาประชากรอามะลดลง

สาเหตุที่อามะนั้นลดลงอย่างต่อเนื่องก็คือ

การที่คนรุ่นใหม่ไม่มีความสนใจจะเป็นอามะและการที่วัตถุดิบในทะเลที่สามารถจับได้ลดลงนั้นทำให้รายได้ของอามะเองก็ลดลงด้วย

อีกสิ่งที่สำคัญคือที่เกาหลีนั้นอามะนั้นถูกมองว่าเป็นอาชีพที่ไม่สูงส่งทำให้ถูกดูถูกและทำให้อามะนั้นไม่มีความอยากจะทำอาชีพต่อ

ส่วนเหตุผลที่ทั้งญี่ปุ่นและเกาหลีอยากที่จะแก้ไขปัญหามะเร็งอามะลดลงอย่างต่อเนื่องนั้นมีอยู่ 3 เหตุผลใหญ่ๆคือ 1.คุณค่าทางวัฒนธรรมของอามะ

2.อามะนั้นเป็นอาชีพที่มีความสามารถจะสืบสานต่อไปในอนาคตได้อย่างต่อเนื่อง 3.ผลประโยชน์ทางด้านการท่องเที่ยว

ด้วยเหตุผลเหล่านี้ทำให้เกิดการสานสัมพันธ์ อามะข้ามทวีปขึ้นมาเพื่อให้อามะของทั้งสองประเทศได้ถูกขึ้นทะเบียน โดยยูเนสโก

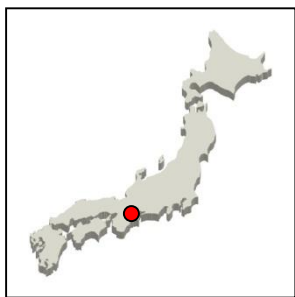
ด้วยทางรัฐบาลของเกาหลีนั้นเสนอชื่ออามะของเกาหลีไปที่ยูเนสโกและถูกขึ้นทะเบียนในฐานะ

วัฒนธรรมที่จับต้องไม่ได้ทำให้ทั้งอามะญี่ปุ่นและนักวิจัยต่างรู้สึกผิดหวังมากนอกจากนี้อามะและนักวิจัยของเกาหลีเองก็รู้สึกผิดหวังเช่นกัน

แต่ว่าในปัจจุบันนี้ทั้งสองประเทศต่างก็มีความสัมพันธ์ที่ดีต่อกันเรื่อยๆ

ทั้งนักศึกษาของมหาวิทยาลัยมิเอะและคนไทยเองก็อยากจะทำให้สืบสานอามะต่อไปในอนาคต

แต่เนื่องด้วยการประชาสัมพันธ์ที่ไม่เพียงพอนั้นก็เป็นส่วนที่ทำให้จำนวนอามะลดลงผู้เขียนจึงได้เสนอแนวทางในการแก้ไขไว้ภายในวิจัยนี้



三重大学 (三重県)



将来、日本や日本語に関係する研究や仕事を目指し、国際的に活躍する人を育てるためのコースです。

■大学紹介

①大学の特色及び概要

◆三重大学は総合大学で、人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部の5学部があります。また、大学院は地域イノベーション学研究科を加えた6研究科があり、キャンパスは津市にあります。自然環境に恵まれ、キャンパスのすぐ東側には海岸の波が打ち寄せ、北西には鈴鹿の山が連なります。

◆学生数・教員数

学部学生数：6,028名

大学院生数：1,111名

教員数：778名

外国人留学生数：291名（34カ国）

〈2019年5月1日現在〉

◆環境先進大学

本学は国際規格であるISO 14001の認証を受けて様々な環境マネジメントシステムを構築しています。

②国際交流の実績

◆三重大学は、外国の116大学・機関と、大学間または学部間の学術交流協定を結んでいます。これらの大学とは、教員・学生の交流、学術情報交換などを行っています。

〈2019年5月1日現在〉

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

	留学生	日研生
2017年度	316名	4名
2018年度	298名	4名
2019年度	291名	4名



④地域の特徴

◆津市は、三重県の県庁所在地です。人口は約28万人、温暖な気候で暮らしやすいところです。交通も便利で、大阪へのアクセスは約1時間半、京都へは約2時間、東京へも約3時間です。

◆三重県は、歴史や文学・国学の豊かなところです。すでに8世紀には『万葉集』の詩歌にうたわれ、多くの小説の舞台となりました。三島由紀夫が小説『潮騒』に描いた神島も、ここ三重県にあります。俳句を詠んだ松尾芭蕉は現在の三重県の地に生まれ、「文学の神様」と呼ばれる横光利一も中学時代を三重県で過ごしました。

◆県内には多くの史跡や名勝があり、観光客もたくさん訪れます。伊勢神宮を中心とした歴史的建造物、古い宿場町や歴史街道も残っています。また、熊野古道は、2004年7月に世界遺産に登録されました。

◆県内にある鈴鹿サーキットは、「日本のモータースポーツの聖地」と言われてきました。F1日本グランプリが開かれることにより、世界各国から多くのファンが集まります。

◆三重大学国際交流センターは、三重大学における国際交流の要として、本学の国際的な教育研究の充実、及び地域の国際化に寄与することを目的とし、様々な国際的な活動の企画・推進を行っています。



伊勢神宮 内宮



鈴鹿サーキット



伊賀上野城



61 三重大学国際交流センター

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a)主に日本事情・日本文化に関する研修

② コースの特色

◆将来、日本や日本語に関係する研究や仕事を目指している人のためのコースです。

◆地域住民及び三重大学生、在日外国人や留学生との相互交流を通して、日本文化や異文化への理解を深めることができます。

◆それぞれの指導教員の下、各自が設定したテーマや、基礎的な研究や報告書の書き方について学ぶことができます。

③ 受入定員

5名（大使館推薦1名、大学推薦4名）

④ 受講希望者の資格、条件等

次の(1)と(2)の両方の条件を満たすこと。

(1) 本国の4年制大学において、日本語・日本語教育・日本文化関係を専攻している人（2年生以上）。

(2) 日本語能力試験N2以上か、それに相当する日本語力がある人（語彙を約4,000～6,000語、漢字を約600～800字以上、既に習得している人）。

⑤ 達成目標

日本語・日本文化研究を通して、母国と日本のかけはしとなる学生の育成。

⑥ 研修期間（在籍期間）

2020年10月1日～2021年8月31日
修了式は8月31日までに開催予定

⑦ 奨学金支給期間

2020年10月～2021年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

◆秋学期（後期）

9月下旬 渡日／オリエンテーション
日本語レベル判定試験

10月 ウェルカムパーティ
授業開始

11月 大学祭
12月 研修旅行
国際交流ディズ

2月 期末テスト
中間発表会

◆春学期（前期）

4月 授業開始
7月 最終発表会
8月 盆踊り大会
研修レポート提出
修了式／帰国



⑨ コースの修了要件

日本語日本文化演習AB及び各レベルの必修科目及び選択科目から、各学期合計7科目以上受講し、また日本語による研修レポートの執筆と研修発表（中間発表会・最終発表会）をします。成績判定は、教員による成績会議で総合的に判断されます。コース修了が認められた学生には、成績証明書を発行します。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

◆日本語や日本文化、または三重県に関するテーマを決めて、担当教員の指導のもと研究または実践活動を進めます。

2月初旬：中間発表会
7月中旬：最終発表会
8月末：研修レポート提出〆切



発表会の模様

◆コースに入りしだい、日本語レベル判定試験を受けます。その結果により中級Ⅱレベルと上級レベルに分かれます。自分のレベルに合わせて、中級後半から上級レベルの日本語を集中的に学習します。

2) 研修・コース開設科目（全て90分×16回／学期）

I) 必修科目

◆中級Ⅱ

授業名 (単位数)	主な目標
文法・読解 (1単位)	中・上級レベルの表現文型を体系的に学び、運用する力を身につける。
読解・作文 (1単位)	大学の専門分野の学習への橋渡しとして、高度な文章を総合的に読解できる力をつける。
聴解・会話 (1単位)	映画・アニメーション・ドラマ等の視聴を通して、生の日本語を聞き取り、意見交換を通して聴解・会話力を高める。
日本語・日本文化演習 (1単位)	自分の専門分野に関する研究を進め、研修レポートを書くための指導を受ける。
日本事情Ⅰ：三重の社会と文化（2単位）	日本と三重県の社会文化環境を学外研修などを通して、楽しみながら理解する。

◆上級

授業名 (単位数)	主な目標
上級総合日本語Ⅰ（1単位）	学術的な小論文の書き方の基礎を学ぶ。また、実際に小論文を書く。
上級総合日本語Ⅱ：留学生と学ぶ日本（1単位）	三重大学生とのディスカッションを通して、日本社会・文化への理解を深めたり、自分の意見を発表したりする。
日本語・日本文化演習（1単位）	自分の専門分野に関する研究を進め、研修レポートを書くための指導を受ける。
日本事情Ⅰ：三重の社会と文化（2単位）	日本と三重県の社会文化環境を学外研修などを通して、楽しみながら理解する。

II) 選択科目

◆以下のような選択科目があります。

●日本語による科目

「上級へのステップアップ」(1単位)
「日本事情Ⅱ：メディアと日本(後期のみ)」
(2単位)

●英語による国際教養科目

「世界遺産と私たち」(2単位)
「環境問題と地球」(2単位)
「英語でエッセイ」(2単位)

◆上級レベルの人は中級Ⅱの授業科目を、中級Ⅱレベルの人は中級Ⅰの授業科目を選択して受講することもできます。

◆上記の国際交流センターの科目のほかに、他学部の科目を選択し、受講することもできます。

3) 見学、地域交流等の参加型科目

「日本事情Ⅰ：三重の社会と文化(必修科目)」(2単位)では、三重県の文化・歴史等について調べ、バスで様々な場所を訪問して地域の社会や文化、産業などについて学びます。



4) 日本人学生との共修の機会

国際交流センターが全学(教養教育院)に開放している科目では、すべて日本人学生と共に学ぶことができます。開放科目は以下の通りです。

●日本語による科目

「上級総合日本語Ⅱ：留学生と学ぶ日本(上級必修科目)」(1単位)

●英語による国際教養科目

「三重学：三重の社会と文化」(2単位)
「日本学：メディアと日本(前期のみ)」
(2単位)

⑪ 指導体制

- ◆福岡昌子教授(専門：音声・第二言語習得)
- ◆松岡知津子准教授(専門：文法)
- ◆栗田聡子准教授(専門：メディア心理学)
- ◆正路真一助教(専門：心理言語学・第二言語習得)

■宿 舎

三重大学には現在留学生用の宿舎が3つあります。「外国人留学生寄宿舍」は、留学生と日本人学生が部屋をシェアして共同生活し、異文化交流を通してグローバルな視点を持てる場となっています。

- ①外国人留学生会館(1988年建設) 月額 6,900円~14,000円
- ②外国人留学生寄宿舍(2009/15年建設) 月額 7,500円~30,000円
- ③国際女子学生寄宿舍(1973年建設) 月額 5,900円



上(左)外国人留学生寄宿舍外観
(右)同 共用キッチン
下(左)同 シェアールームのダイニング
(右)国際女子学生寄宿舍居室

■修了生へのフォローアップ

修了生と在校生の交流を目的に、12月の国際交流イベントでイベントを開く予定です。

■その他の学習支援体制

◆日本語チューター

三重大学生が留学生の日本語の向上や日本文化への理解を深める機会を与えます。日常生活のサポートもします。

◆てらこやサークル

三重大学生による日本語学習のボランティアサークルです。一緒に会話の練習をしたり、日本語の宿題をみてもらうことができます。

■ホストファミリー・プログラム

希望する留学生は「セカンド・ホーム」というプログラムに登録し、週末や休日を一緒に楽しく過ごすためのホスト・ファミリーを持つことができます。約30年の歴史を持つ市民交流プログラムです。



三重大学上浜キャンパス

シロモチくん
(津市PRキャラクター)

■問合せ先

<担当部署>
三重大学学術情報部国際交流チーム

住所： 〒514-8507
三重県津市栗真町屋町1577

TEL： +81-59-231-9688(直通)
FAX： +81-59-231-5692
Email： ryugaku@ab.mie-u.ac.jp

<ウェブサイト>
三重大学国際交流センター：
<http://www.mie-u.ac.jp/international/index.html>
三重大学：
<http://www.mie-u.ac.jp/>



Mie University (Mie)



This course is for international students who intend to research or work on Japan or the Japanese language and play globally active roles in their futures.

■ University Overview

(1) Outline of University

◆ Mie University consists of five undergraduate faculties (Humanities, Law & Economics/ Education / Medical study / Engineering / Bioresources) and six graduate schools including the Graduate School of Regional Innovation Studies. The campus is located in Tsu city, which is blessed with an excellent natural environment facing a beach to the east and the Suzuka Mountains to the north-west.

◆ Number of Students and Staff

Undergraduate Students: 6,028
 Graduate Students: 1,111
 Teaching Staff: 778

International Students: 291 (34 countries)
 < As of May 1, 2019 >

◆ Environmentally Friendly and Advanced University

Mie University was granted the certification for ISO14001, Environmental International Standards, and has established a variety of environmental management systems.

(2) International Exchanges

◆ Mie University has partner-university or partner-faculty academic exchange agreements with 116 institutions for the advancement of the exchange of students, researchers, and academic information.
 < As of May 1, 2019 >

(3) Numbers of International Students (IS) and those in the Japanese Language and Culture Studies (JLCS) Course

	IS	JLCS
Year 2017	316	4
Year 2018	298	4
Year 2019	291	4



Ise Grand Shrine



Suzuka Circuit



Iga Ueno Castle



64 CIER, Mie University

(4) The Region

◆ Tsu city is the prefectural capital of Mie prefecture with a population of approx. 280,000. It is comfortable to live in with a mild climate throughout the year and convenient to access other cities: 1.5 hours to Osaka; 2 hours to Kyoto, and 3 hours to Tokyo.

◆ Mie prefecture is known for its rich history and culture. The region has been referred to in many literature works, including *Manyoshu*, a poetry anthology compiled as early as the 8th century. Also, *Shiosai*, a novel written by Yukio Mishima, is set in Kamijima Island of Mie, Matsuo Basho, the greatest haiku poet, was born in Iga in Mie, and Riichi Yokomitsu, known as the “God of Literature,” spent his junior high school days in Iga.

◆ Mie is known for its rich historical sites and resort areas. Historical architectures such as the Ise Grand Shrine, traditional towns, and ancient streets have been well preserved. *Kumano-kodo* (the ancient pilgrimage routes of Kumano) was registered as a World Heritage Site in July, 2004.

◆ The Suzuka Circuit is referred to as the “Holy place of Japanese motorsports” and is the site of the Formula 1 Japanese Grand Prix. This event attracts fans from all over the world.

◆ Center for International Education and Research (CIER) of Mie University plays a central role for the international relations of the university and is engaged in international activities, events and projects with the intention of the globalization of the university education and its region.

■ Course Overview

① Course Objectives

a) A course intended mainly to study about Japan and Japanese culture

② Course Features

- ◆ This course is designed for students who plan to do research or work in a field related to Japan or the Japanese language.
- ◆ Through interactions with Japanese students, foreign nationals living in Japan and other international students, the course participants will gain a deeper understanding of the Japanese and other cultures.
- ◆ Each student is assigned an academic advisor and receives personalized tutoring in basic research methods and writing research articles.

③ Number of Students to be Accepted

5 students (1 with Embassy Recommendation & 4 with University Recommendations)

④ Qualifications and Conditions

Applicants must meet both conditions (1) & (2):
 (1) Undergraduate students (in the second year or above) at home institutions who major in Japanese language, Japanese language education, Japanese culture, or related fields.
 (2) Students who have passed the Japanese Language Proficiency Test Level 2 or 1, or those who have the equivalent proficiency (e.g., Those who have mastered 4,000 to 6,000 words and 600 to 800 Kanji).

⑤ Course Goal

To develop abilities to build cultural-interactive bridges between home countries and Japan through the study of Japanese culture and language.

⑥ Course Period

October 1, 2020 to August 31, 2021
 Closing Ceremony will be held before August 31, 2021.

⑦ Scholarship Period

October 2020 – August 2021

⑧ Events

◆ Fall Semester (Latter Semester of Mie Univ.)

- Sept. Arrival at Mie / Orientation Placement Test
- Oct. Welcome Party Classes begin
- Nov. University Festival
- Dec. Field Study International Exchange Days
- Feb. Final Exam Week JLCS Mid-term Presentations



◆ Spring Semester (First Semester of Mie Univ.)

- Apr. Classes Begin
- July JLCS Final Presentations
- Aug. Bon-dance Festival JLCS Paper Due JLCS losing Ceremony / Departure from Mie



⑨ Criteria for Course Completion

Students must pass 7 or more courses per semester, which include Japanese Language and Culture Studies class (JLCS) as well as other requisite classes. Also, students must either complete a research paper or an activity report and present outcomes from the research / activities in Japanese. Grades will be given through comprehensive evaluations by teaching staffs. Certificates of completion will be issued for students who have successfully completed the requirements and received satisfactory grades.

⑩ Course and Class Overview

1) Course and Class Features

- ◆ Students select one's own topic that is relevant to Japanese language, Japanese culture, or Mie prefecture, and conduct research or participate in activities under advisors' directions.
 Early February: JLCS Mid-term Presentations
 Middle July: JLCS Final Presentations
 Late August: JLCS Paper Due

- ◆ New students take a placement test to be placed either in the advanced course or the upper intermediate (Intermediate II) course.



Past JLCS presentations

2) Classes (90 min. X 16 class meetings per semester)

I) Requisite Classes

◆ Upper Intermediate Level (Intermediate II)

Class (Credits)	Objectives
Grammar & Reading (1 credit)	To study intermediate and advanced levels of expression patterns and to acquire the ability to use them properly.
Reading & Writing (1 credit)	To acquire the ability to read advanced academic writings as the preparation for the study in one's major field in Japanese.
Listening & Conversation (1 credit)	To improve listening and conversational abilities through movies, animation and drama, as well as through active conversation exchanges with classmates.
Japanese Language and Culture Studies (JLCS) (1 credit)	To study in one's major field and to write a research paper or an activity report in Japanese with tutorials from academic advisors.
Japanese Culture & Society I: The Society and Culture of Mie (2 credits)	To learn and enjoy the society and culture of Mie prefecture through field studies.

◆ Advanced Level

Class (Credits)	Objectives
Advanced Comprehensive Japanese I (1 credit)	To acquire the basis of academic writing and to write a research paper in Japanese.
Advanced Comprehensive Japanese II: The Study of Japan with International Students (1 credit)	To discuss with Japanese students, to present one's own opinions, and to gain deep understanding of Japanese society and culture.
Japanese Language and Culture Studies (JLCS) (1 credit)	To study in one's major field and to write a research paper or an activity report in Japanese with tutorials from academic advisors.
Japanese Culture & Society I: The Society and Culture of Mie (2 credits)	To learn and enjoy the society and culture of Mie prefecture through field studies.

II) Elective Classes

◆ Students may enroll in the below elective classes

- Classes conducted in Japanese
“Step-up to Advanced Level” (1 credit)
“Japanese Culture & Society II: Media and Japan” (Fall semester only) (2 credits)
- Classes conducted in English
“Our World Heritage” (2 credits)
“Environmental Issues and the Earth” (2 credits)
“English Short Composition” (2 credits)

◆ Advanced level students may also take upper intermediate (Intermediate II) classes. Upper intermediate (Intermediate II) level students may also take lower intermediate (Intermediate I) level classes.

◆ In addition to the above Center for International Education and Research (CIER) courses, students may also enroll in classes offered by the other five faculties (Humanities, Law & Economics / Education / Medical study / Engineering / Bioresources).

3) Field-study & Region-Interactive Class

“Japanese Culture & Society I: The Society and Culture of Mie” (requisite class) (2 credits) requires students to visit regional resort, shrines, etc. as field trips to learn culture and industries in Mie prefecture.

4) Studies with Japanese Students

Mie University Center of International Education and Research (CIER) opens classes to entire university (College of Liberal Arts and Sciences), in which both international students and Japanese students may enroll. The classes are shown below.

- Classes conducted in Japanese
“Advanced Comprehensive Japanese II: The study of Japan with International Students” (1 credit)
- Classes conducted in English
“Mie Study: The Society and Culture of Mie” (2 credits)
“Japanese Study: Media and Japan” (Spring semester only) (2 credits)

① Teaching Staff

Dr. Masako Fukuoka, Professor (Phonetics, Second Language Acquisition)
Dr. Chizuko Matsuoka, Associate Professor (Grammar)
Dr. Satoko Kurita, Associate Professor (Media Psychology)
Dr. Shinichi Shoji, Assistant Professor (Psycholinguistics, Second language Acquisition)

■ Accommodations

Mie University has three accommodation buildings for international students. One of which, Foreign Students' Dormitory, is a place where international students and Japanese students live together to gain global perspectives through cultural interactions.

- ① University Foreign Students House (Built 1988)
6,900~14,000 yen per month
- ② Foreign Students' Dormitory (Built 2009 / Reno. 2015)
7,500~30,000 yen per month
- ③ Women's Dormitory for International Students (Built 1973)
5,900 yen per month



Top (L) Foreign Students' Dormitory
(R) Foreign Students' Dormitory, Kitchen
Bottom (L) Foreign Students' Dormitory, Dining
(R) Women's Dormitory for International Students, Bedroom

■ Follow-up for Graduates

There is an event during the International Exchange Days in December to encourage interactions between JLCS graduates and current students.

■ Other Study Support Programs

- ◆ Japanese Tutors
International students can be assigned a Japanese student as a tutor. Japanese tutors assist in improving and understanding Japanese language and culture. They can also support international students' daily lives.
- ◆ Terakoya Circle
Terakoya Circle is a student organization which assists international students' study of Japanese language. They offer opportunities to practice Japanese conversation and help with Japanese homework.

■ Host Family Program

International students may apply for “Second Home Program” to have a host family to visit and to spend time with on weekends and holidays. This host family program is a student-citizen interactional program that has 30 years of history.



Kamihama Campus,
Mie University

Shiro-mochi kun
(Tsu-city PR character)

■ For Further Inquiry

International Relations Office, Academic Affairs and Information Department, Mie University

Address: 1577 Kurimamachiya-cho, Tsu city, Mie,
514-8507 JAPAN

Phone: +81-59-231-9688

Fax: +81-59-231-5692

E-mail: ryugaku@ab.mie-u.ac.jp

< Website >

Center for International Education and Research,
Mie University:

<http://www.mie-u.ac.jp/international/index.html>

Mie University:

<http://www.mie-u.ac.jp/>



編集後記

『日本語・日本文化研修留学生 研究レポート集 XVI』をお届けします。
今年度受け入れた日本語・日本文化研修留学生（第16期生日研究生）は、大学推薦による国費外国人留学生4名で、タイから3名、インドネシアから1名と、偶然ですが東南アジアからの留学生のみで構成されました。

日研究生たちは、各自の日本語習得レベルに応じて日本語・日本事情の授業を履修し、また、それぞれの専門に合わせて、他学部や教養教育院が開講する授業も受講しました。それに平行して、各指導教員から1年間、レポートを作成するための指導を受けてきました。母国の大学ではレポート作成の指導を受けたことがない学生が大半だったこともあり、テーマを決める段階から苦労していた日研究生もいたと思います。

日研究生らは、研究成果中間発表会（2019年2月15日）で受けた様々な質問やアドバイスをもとに何度も書き直し、発表の練習も重ねながら、7月12日（金）の研究成果発表会に挑みました。彼らは、それぞれ工夫を凝らした発表スライドを作成し、1年間かけて取り組んだ研究を堂々と発表してくれました。終わった後の、皆の達成感に満ちた表情が忘れられません。

これらすべての成果として、本研究レポート集がまとめられた次第です。帰国後も、日研究生4名がそれぞれの未来に向かって努力していくことと思いますが、研究レポートに取り組んだ経験が何かのかたちで一助になってくれることを願っています。

最後になりましたが、当コースの運営には、多くの皆様にご協力をいただきました。あたたかいご指導をたまわりました先生方、ならびに職員、関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。

2019年9月

日本語・日本文化研修コース

コーディネーター 栗田 聡子